



HDRFactory

Brighter Than Reality



akvis.com

CONTENTS

- アプリケーションの用途
- Windowsでのインストール
- Macでのインストール
- Linuxでのインストール
- プログラムの登録
- 操作方法
 - HDRIとは
 - 異なる露出度での撮影方法
 - ワークスペース
 - 操作方法
 - HDR イメージの生成
 - HDR イメージの「ゴースト」除去
 - 調整と擬似HDR
 - 部分補正
 - 効果
 - 切り取り
 - 後処理
 - バッチ処理
 - 環境設定
 - 印刷
- 操作例
 - 夕暮れ時の海辺
 - 高地の風景
- AKVISプログラム

AKVIS HDRFACTORY 8.0 | 実際よりも明るい画像に!

AKVIS HDRFactoryでは、**HDRイメージ作成**と**画像修正**を行うための万能ソフトウェアといえます。

High Dynamic Range Imaging(ハイダイナミック合成)は高いダイナミックレンジを持つイメージを作成することができる技術です。

このソフトウェアは、同じものをことなる露出度で撮影した何枚かの写真を合成することにより、HDRイメージを作成します。

処理後のイメージのコントラストは素晴らしく、1枚の写真よりも確実に目で見える実際の映像に近いイメージになるでしょう。

人間の目は、どんな最新カメラでも捉えることのできない微妙な色や明るさの違いをより確実に、より多く識別できます。HDR技術は、実際目で見えた状態と写真にレンズを通して撮影した状態(画像)との間に生じるギャップを埋め合わせる試みの結果といえます。



HDRFactoryは名前の通り、素晴らしいHDRイメージ生成のための夢のようなワークショップといえます。

AKVIS HDRFactoryを使うと、現実には近づけるだけでなく、鮮やかな色とユニークな効果によってスタイリッシュなイメージを作成して実際に見る以上のイメージを作り出すことができます。



AKVIS HDRFactoryでは、**1枚の画像からHDR効果を引き出す**ことができ、それを可能にするのは、いわゆる**擬似HDR**の作成です。

この技術は、同じシーンを異なる露出度で撮影した画像がない場合に便利です。AKVIS HDRFactory に1枚の画像を読み込むだけで、**本物以上の効果**をも期待できる素晴らしいHDRの世界の扉を開くことができるでしょう。



このプログラムは画像修正を行うために使用することもできます。色の彩度や明るさの調整、明るい部分や暗い部分の詳細をより鮮明にすることができます。

AKVIS HDRFactoryで写真に息吹、そしてより鮮やかな色合いを！



本プログラムを使用して本物同様の**HDRイメージ**を作成するのは非常に簡単で、時間もかかりません。**複数の画像を1枚のHDRイメージに結合し**、必要に応じて **追加の修正**や**効果**を適用します。

本プログラムには、すぐに使えるAKVIS プリセットが多数用意されています。よく使う設定をオリジナルのプリセットとして保存することもできます。この機能は作業の最適化と時間の節約に大いに役立ちます。



より高度なバージョンである**DeluxeとBusiness**では追加機能が提供されます。HDRイメージを生成する時に生じることのある「**ゴースト**」を除去するためのツールである**ゴースト除去**と特定部分の**処理結果を微調整**することができる**部分補正**ツールです。

AKVIS HDRFactoryは**2つのバージョン**、つまり、独立したプログラム(**スタンドアロン版**)と、お使いのフォトエディターの**プラグイン**として使用できます。プラグインは**AliveColors**、Adobe Photoshop、Corel PaintShop Proなどと互換性があります。詳細は、**対応表**をご覧ください。

スタンドアロン 版の**【後処理】**タブでは、明るさやコントラストの補正、ガンマ補正、イメージの彩度を調整することができます。また、**切り取り**ツールで構成(バランス)を調整することができます。

プラグイン 版は、Photoshopのアクションで一度に多くのイメージが処理可能な**バッチ処理** (**HDR 効果作成時**など)をサポートしています。

WINDOWSでのインストール

AKVIS HDRFactory を Windows OS 搭載の PC にインストールするには、次の指示に従います。

注意:このプログラムをコンピュータにインストールするには、管理者権利が必要です。

AKVISプログラミンをインストールする前に、ご使用のフォトエディタが終了していることを確認してください。インストール中にフォトエディタが開いたままの場合、それを再起動する必要があります。

1. セットアップ用の exe ファイルをダブルクリックして起動させます。
2. 言語を選択し、[OK]をクリックするとインストール画面が表示されます。
3. インストールを続行するには、**ライセンス契約書**を読み、同意する必要があります。

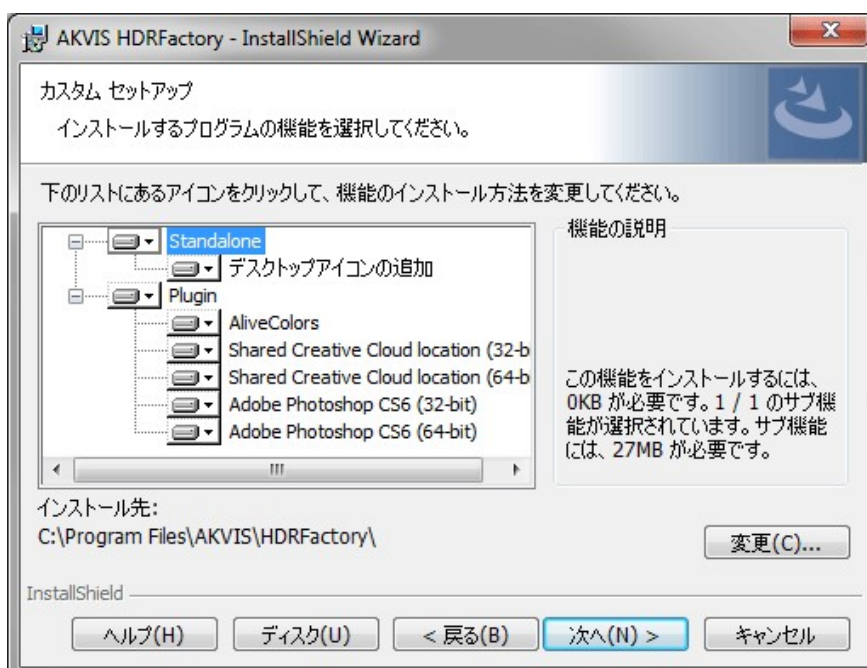
[使用許諾契約の条項に同意します]チェックボックスをオンにして、[次へ]をクリックします。



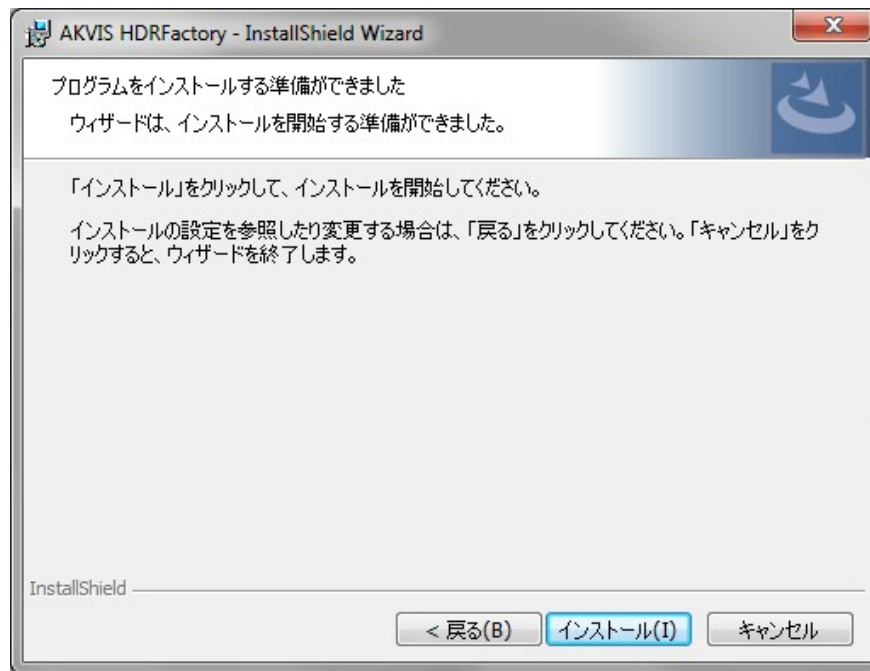
4. **プラグイン版**をインストールする場合は、一覧から使用するフォトエディターを選択します。

スタンドアロン版をインストールする場合、[Standalone]が選択されていることを確認ください。
デスクトップにプログラムのショートカットを作成する場合、[デスクトップにショートカットを作成]を選択します。

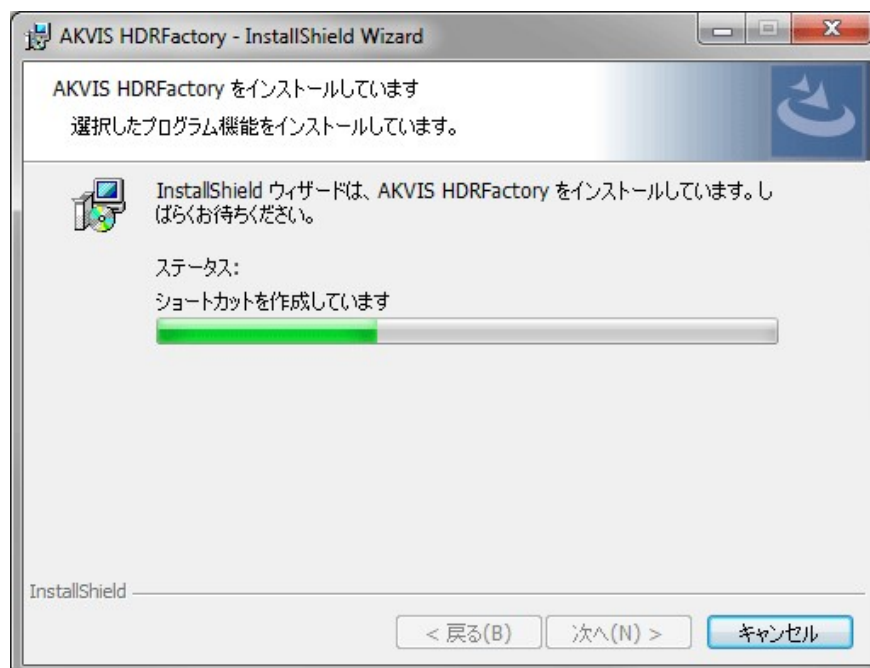
[次へ]をクリックします。



5. **[インストール]**ボタンをクリックします。



6. インストール処理が開始されます。



7. これでインストールは完了です。

AKVIS ニュースレターの購読を申し込むと、アップデート、イベント、割引キャンペーン等についてのお知らせを受け取ることができます。メールアドレスを入力し、プライバシーポリシーを確認し、同意する必要があります。



8. **【終了】**をクリックします。

スタンドアロン版をインストールすると、**【スタート】**メニューにプログラムの新しい項目が追加されます。[デスクトップにショートカットを作成]オプションを選択した場合、デスクトップにショートカットも追加されます。

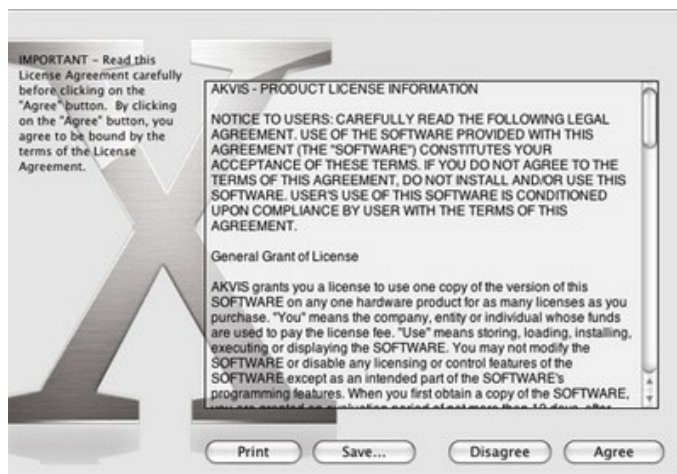
プラグイン版をインストールすると、フォトエディターの**【フィルター】**または**【効果】**メニューに新しいアイテムが追加されます。**Photoshop** の場合、**【フィルター】** > **【AKVIS】** > **【HDRFactory】**となります。

MACでのインストール

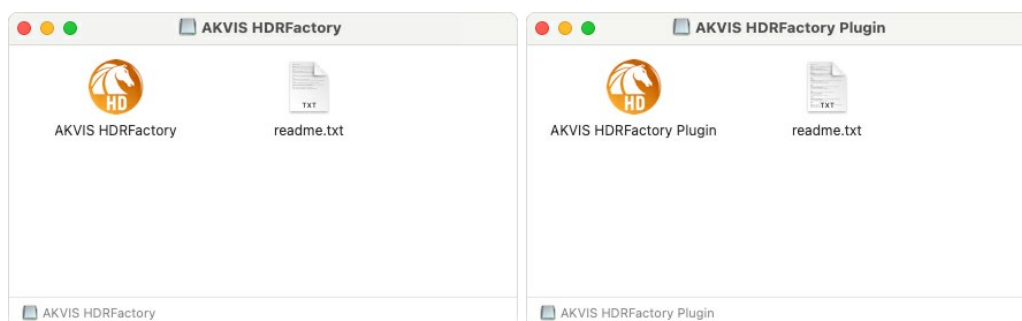
AKVIS HDRFactory を Mac PC にインストールするには、次の指示に従います。

このプログラムをコンピュータにインストールするには、管理者権利が必要です。

1. **dmg** ファイルを開きます：
 - akvis-hdrfactory-app.dmg (スタンドアロン版をインストールする場合)
 - akvis-hdrfactory-plugin.dmg (プラグイン版をフォトエディターにインストールする場合)
2. ライセンス使用許諾契約書を読み、同意する場合は、[Agree(同意)] をクリックします。



3. **Finder** が開き、AKVIS HDRFactory App または AKVIS HDRFactory PlugIn フォルダーが表示されます。



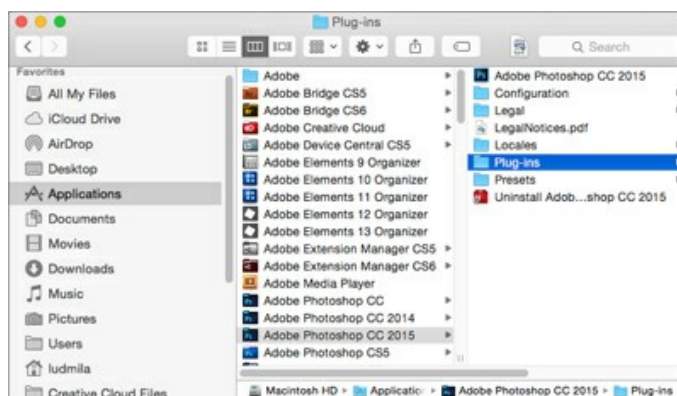
4. **スタンドアロン版**をインストールするには、AKVIS HDRFactory アプリケーションを **[Applications]** フォルダー、または希望の保存先にドラッグします。

プラグイン版をインストールするには、[AKVIS HDRFactory PlugIn]フォルダーを、グラフィック エディターの**[Plug-Ins]**フォルダーにドラッグします。

Photoshop CC 2022, CC 2021, CC 2020, CC 2019, CC 2018, CC 2017, CC 2015.5 の場合、Library/Application Support/Adobe/Plug-Ins/CC

Photoshop CC 2015 の場合、Applications/Adobe Photoshop CC 2015/Plug-ins

Photoshop CS6 の場合、Applications/Adobe Photoshop CS6/Plug-ins に移動させます。



プラグイン版をインストールすると、フォトエディターの**[フィルター]**メニューに新しいアイテムが追加されます。Photoshop の場合は、**[フィルター] > [AKVIS] > [HDRFactory]**が追加されます。

スタンドアロン版は、Finder のアイコンをダブルクリックすることにより実行します。

AKVIS プログラムを実行する別の方法は、[Image]メニューの[Edit With]コマンドから、Photos アプリケーションを選択することです (High Sierra 以降の

macOS)。

INSTALLATION ON LINUX

Follow the instructions to install the AKVIS software on a Linux computer. We took **AKVIS HDRFactory** as an example. Other AKVIS programs are installed in the same manner.

You can use only the standalone applications by AKVIS on computers with Linux OS. We are working on the plugins compatibility.

Note: The AKVIS programs are compatible with **Linux kernel 5.0+ 64-bit**. You can find out the kernel version using the **uname -srm** command.

Installation on **Debian**-based systems:

Note: You need apt-install or apt-get permissions required to install software.

1. Run the terminal.
2. Create a directory to store keys:
sudo mkdir -p /usr/share/keyrings
3. Download the key that signed the repository:
curl -fsSL https://akvis.com/akvis.gpg | sudo tee /usr/share/keyrings/akvis.gpg >/dev/null
or **wget -O - https://akvis.com/akvis.gpg | sudo tee /usr/share/keyrings/akvis.gpg >/dev/null**
4. Add the repository to the list where the system looks for packages to install:
echo 'deb [arch=i386 signed-by=/usr/share/keyrings/akvis.gpg] https://akvis-deb.sfo2.cdn.digitaloceanspaces.com akvis non-free' | sudo tee /etc/apt/sources.list.d/akvis.list
5. Update the list of known packages:
sudo apt-get update
6. Install AKVIS HDRFactory
sudo apt-get install akvis-hdrfactory
7. The installation is completed.

Launch the program via the terminal or using the program shortcut.

8. For automatic updates, use the command:
sudo apt-get upgrade

To remove the program:

sudo apt-get remove akvis-hdrfactory --autoremove

Installation on **RPM**-based systems (**CentOS**, **RHEL**, **Fedora**):

1. Run the terminal.
2. Register the key that signed the repository:
sudo rpm --import https://akvis.com/akvis.asc
3. Add the repository to the system:
sudo wget -O /etc/yum.repos.d/akvis.repo https://akvis.com/akvis.repo
4. Update the package list:

when using the **dnf** package manager:
sudo dnf update

when using the **yum** package manager:
sudo yum update

5. Install AKVIS HDRFactory:

when using the **dnf** package manager:
sudo dnf install akvis-hdrfactory

when using the **yum** package manager:
sudo yum install akvis-hdrfactory

6. The installation is completed.

Launch the program via the terminal or using the program shortcut.

7. For automatic updates:

when using the **dnf** package manager:
sudo dnf upgrade

when using the **yum** package manager:
sudo yum upgrade

8. To remove the program:

when using the **dnf** package manager:
sudo dnf remove akvis-hdrfactory

when using the **yum** package manager:
sudo yum remove akvis-hdrfactory

Installation on **openSUSE**.

1. Run the terminal.
2. Login as a root user.
3. Add the key that signed the repository:
rpm --import http://akvis.com/akvis.asc
4. Add the repository to the system:
zypper ar -r https://akvis.com/akvis.repo akvis
5. Update the package list:
zypper ref
6. Install AKVIS HDRFactory:
zypper install akvis-hdrfactory
7. The installation is completed.

Launch the program via the terminal or using the program shortcut.

8. For automatic updates:
zypper update

To remove the program:
zypper remove akvis-hdrfactory

In order to display the program interface correctly, it is recommended to install the Compton or Picom composite manager.

AKVIS製品のアクティベーション方法

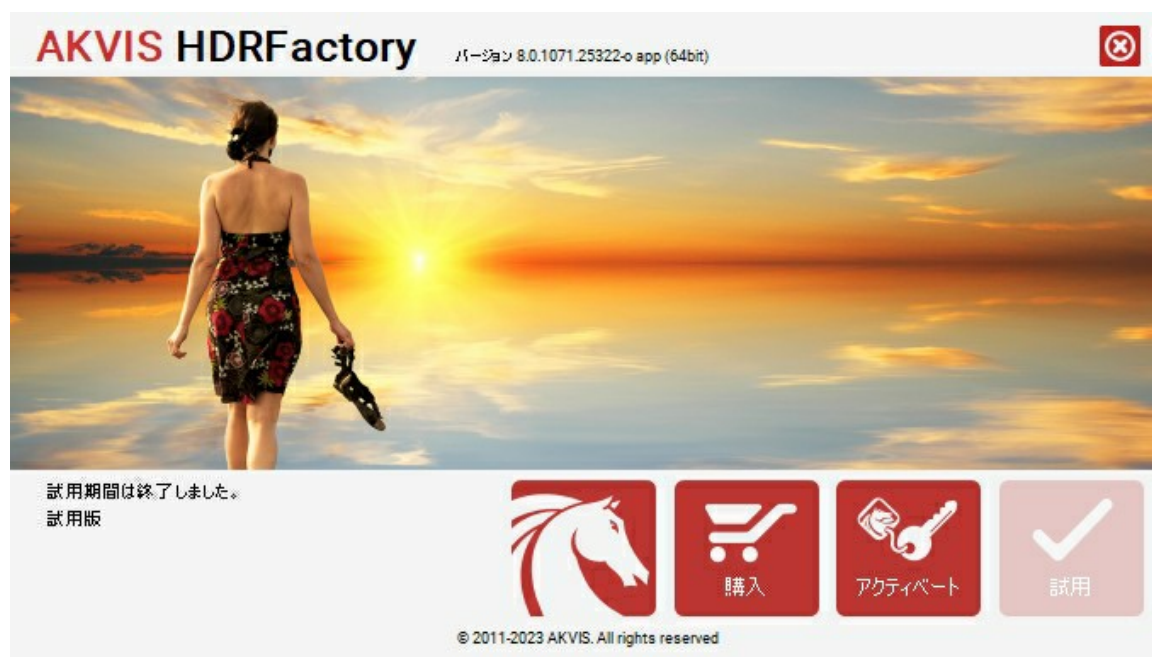
注意: この方法でアクティベーション処理を行うには、インターネット接続が必要です。

インターネット接続環境がない場合、別の方法でのアクティベーションも提供しています(詳細は「[オフライン アクティベーション](#)」を参照)。

AKVIS HDRFactory をダウンロードし、プログラムをインストールしてください。インストール方法の詳細は[こちら](#)。

アクティベーションを行っていないプログラムを起動すると、スプラッシュ ウィンドウが表示され、バージョン情報や試用期間の残り日数等を知らせてくれます。

[バージョン情報]ウィンドウは、プログラムのコントロールパネル内の  ボタンをクリックして表示することもできます。



ソフトウェアを試しに使う場合は、**[試用]**をクリックします。新しいウィンドウが開き、試用可能なライセンスの一覧が表示されます。

ソフトウェアのすべての機能を試用するために、試用版をアクティベートする必要はありません。プログラムを試用期間の10日間、使用するだけです。

試用期間中にすべてのオプションを試すことができますので、利用環境に最適な種類を選んで購入できます。使用するバージョンを選択します。**Home**(プラグイン/スタンドアロン)、**Home Deluxe** または**Business**から選択します。選択するライセンスによってプログラムで利用できる機能が異なります。ライセンスの種類やソフトウェアのバージョンに関する詳細は、[比較表](#)を参照してください。

試用期間が終了している場合、**[試用]** ボタンは選択できません。

[購入]ボタンをクリックして、購入するライセンスを選択してください。

支払いが完了するとすぐに、プログラム用のシリアル番号が送られます。

アクティベーション処理を開始するには、**[アクティベート]**をクリックします。

© 2011-2023 AKVIS. All rights reserved

HDRI (ハイダイナミック合成イメージ)とは

強力な光源と非常に暗い影の部分から成る写真を見ると、暗い部分または明るい部分で詳細が失われていることに気がつくでしょう。暗い部屋の中から窓を通して外を見ようとしている自分を想像してみてください。外の眺めが部屋の中のインテリアのどちらかのみ詳細に認識できることでしょう。しかし、イメージ内のすべての詳細を維持することのできる方法があります。

HDRI (High Dynamic Range Imaging/ハイダイナミック合成) はイメージのダイナミックレンジを広げ、暗い部分と明るい部分の両方で詳細を鮮明にします。

ダイナミックレンジ とは、メディア(フィルム、写真乾板、印画紙)やデジカメのマトリクスに記録できる明るさの値の範囲のことです。

現在使用されている多くのカメラが**低い**ダイナミックレンジを持つのにに対し、人間の目はどんなものでも、どんな明るさの中でも、さらに多くの色の明暗の値を認識できます。

HDRI 技術は、幾つかの画像を合成することにより目で見た状態に近いイメージを作成でき、人間の目とカメラの持つダイナミックレンジの差を最大限縮めてくれます。しかし、モニターは、デジカメと同様、低いダイナミックレンジで表示され、HDRイメージを最大限生かしたレンダリングができません。そのため、**トーン マッピング** という技術が適用され、画質を落とすことなくダイナミックレンジに対して高度な圧縮が行われます。圧縮後のイメージは、LDR(low dynamic range)イメージと呼ばれますが、元のイメージが明らかに改善されていることがわかります。

高コントラストの写真を使用すると、違いは歴然です。

元のイメージと比較してみましょう。



HDRI処理を行った結果



このソフトができる前は、同様の効果を得るためには、撮影時にこぼれフィルターを使用したり、Adobe Photoshopのさまざまなツール(マスクやレイヤー)を使用したりする必要がありました。

HDRI技術により、このプロセスが短縮できるようになりました。これからは、同じオブジェクト(シーン)の写真を **何枚も** 異なる露出度で撮影し、撮影した画像を **AKVIS HDRFactory** に読み込んで、画像を1つに合成するだけです。

異なる露出度での撮影方法

HDR イメージの生成には、同じシーンを異なる露出度で撮影した画像のセットが必要です。撮影時には、**マニュアルモード** または **自動段階露出** モードを使用します。

後半の自動段階露出モードについて詳しく見てみましょう。このモードを使用して、異なる露出度の画像を何枚か撮影するには、以下の手順で行います。

1. デジカメの設定を自動段階露出モード (AEB) にします。このモードでは一般的に3種類、露出不足、標準、露出オーバー、の撮影を行います。中には、5種類またはそれ以上撮影できるデジカメもあります。
2. 自動段階露出の露出範囲を設定します。推奨される値は、 $-2, 0, +2$ です。
3. ISO パラメータは必ず100 以下の値で設定してください。100を超えるとノイズが多くなり、扱いが難しくなります。
4. 最大イメージ サイズを選択します。
5. 撮影のテーマを選択します。屋外で撮影を行う場合に遭遇する可能性のある問題がいくつかあります。自然の風景(シーン)で動きのない風景はほとんどありません。人や車の動きがある場合は、それらがなくなってから撮影を行うことができます。風で舞う落ち葉は、人間の努力で変えることはできませんし、処理結果に大きな影響をもたらすものではないので、重要視する必要はないでしょう。もし木そのものが揺れている場合、処理結果で枝が何重にもなってしまう可能性がありますので、別の機会(木が揺れていない時)に撮影した方がよいでしょう。
6. デジカメを三脚もしくは安定した台の上に設置します。カメラを固定することで、撮影時のズレを最小限に抑えることができます。
7. 何枚か撮影します。
8. 撮影した画像をコンピュータに転送します。

注意: 画像の修正などは行わないでください。



露出設定 $-2, 0, 2$ の画像セット

ワークスペース

AKVIS HDRFactory は、独立したスタンドアロン プログラムとして、また、ご使用のフォトエディターのプラグインとしても機能します。

スタンドアロンは独立したプログラムです。通常通りの方法で起動できます。

プラグイン版は、Photoshop、AliveColors、その他[互換性のあるプログラム](#)のグラフィック エディターのアドオンです。プラグイン版を呼び出すには、イメージエディターのフィルターから選択します。

AKVIS HDRFactory のワークスペースは次のように表示されます。



プログラム ウィンドウの左側には**イメージ ウィンドウ**があり、[処理前]と[処理後]の 2つのタブで構成されています。[処理前]と[処理後]の 2つのタブで構成されています。[処理前]タブには元のイメージが表示され、[処理後]タブには処理済みのイメージが表示されます。タブを切り換えて、変換後のイメージと元のイメージを比較する場合は、イメージ上の任意のポイントをクリックしてください。

イメージウィンドウと[処理前]、[処理後]タブの表示方法は、左側パネル下部の**表示モード**で変更できます。



ウィンドウ上部には、以下のボタンを含む**コントロール パネル**があります。

: AKVIS HDRFactory のホームページに移動します。







: 処理を行うイメージ1枚または複数を開きます。この操作に対応するホットキーは、Windows の場合 **Ctrl + O** キー、Mac の場合 **⌘ + O** キーを押すことによって、拡大縮小を行うこともできます。





スタンドアロン版では、このボタンの右クリックで最近使用したファイルの一覧が表示されます（単一イメージとHDRセットの両方）。表示するファイル数をプログラムの**[環境設定]**で変更することもできます。







: 処理したイメージをディスクに保存します（スタンドアロン版のみ）。この操作に対するホットキーは、Windows の場合 **Ctrl + S** キー、Mac の場合 **⌘ + S** キーを押すことによって、拡大縮小を行うこともできます。

: 印刷ダイアログを開いてイメージを印刷します（スタンドアロン版のみ）。この操作に対するホットキーは、Windows の場合 **Ctrl + P** キー、Mac の場合 **⌘ + P** キーです。

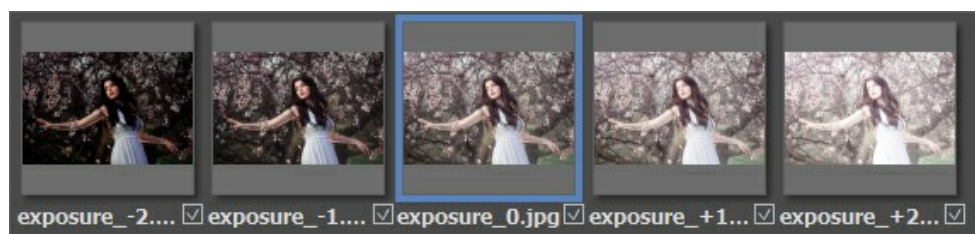
と : 画像を左または右に90°まで回転させることができます（スタンドアロン版のみ）。この操作に対するホットキーは、Windows の場合 **Ctrl + ,** キーで左に回転、**Ctrl + .** キーで右に回転します。Mac の場合、**⌘ + ,** と **⌘ + .** キーです。

-  : ゴースト除去ツールを有効にします(Deluxe/Business版のみ)。
-  : 部分補正ツールを有効にします(Deluxe/Business版のみ)。
-  /  : 択範囲の表示/非表示を切り替えます。
-  : 各ツールを使って行った最後の操作を取り消します。連続した複数の操作を取り消すことができます。このコマンドに対するホットキーは、**Ctrl + Z** キー、Mac の場合 **⌘ + Z** キーです。
-  : 最後に取り消した操作をもう一度やり直します。連続した複数の操作をやり直すことが可能です。このコマンドに対するホットキーは、**Ctrl + Y** キー、Mac の場合 **⌘ + Y** キーです。

注意:  / 、 と  はゴースト除去モード、もしくは部分補正モードを選択して作業しているときのみ利用できます。


-  ボタン(スタンドアロン版のみ) : 画像をまとめて自動変換できる **パッチ処理**ダイアログを開きます。
-  : 変換結果を適用し、プログラムを閉じます(プラグイン版のみ)。
-  : プログラムに関する情報を含む、バージョン情報ウィンドウを開きます。
-  : ヘルプファイルを呼び出します。この操作に対するホットキーは、**F1** キーです。
-  : プログラムの環境設定を変更するための**[環境設定]**ダイアログボックスを開きます。
-  : このボタンは、HDRFactoryに関する最新ニュースを表示するウィンドウを開きます。





複数の画像を開いている場合は、**イメージ ウィンドウ**の下にそれらの画像のサムネイルが表示されます。[処理前]タブには、選択しているサムネイル (青く囲まれているもの) の画像が表示されます。別の画像を表示するには、表示したい画像のサムネイルを左クリックします。







画像ファイル名の横のチェックボックスは、HDR生成のためにその画像を使用するかどうかを表しています。HDR生成のために特定の画像を使用しない場合は、画像ファイル名の横のチェックボックスをオフにします。

イメージ ウィンドウの左側には、**ツールバー**があります。



部分補正ツール (Home Deluxe と Business ライセンスでのみ利用可能な部分補正モード  使用時):


-  : **ピン留めツール** を有効にし、**パラメーター**によって作成される修正領域の周囲にピンを追加することで、画像の特定範囲を処理することができます。この操作に対するホットキーは、**P** キーです。
-  : **修正領域ツール**を有効にし、追加で処理する部分をフリーハンドで選択できます。**処理パラメーター**を変更するには、選択範囲を右クリックします。この操作に対するホットキーは、**B** キーです。
-  : **消しゴムツール**を有効にして、 を使用した領域の編集や削除をすることができます。この操作に対するホットキーは、**E** キーです。


ゴースト除去ツール (Home Deluxe と Business ライセンスでのみ利用可能なゴースト除去モード  使用時):


-  : **ゴースト除去ツール**を有効にして、HDRイメージにしばしば現れる**不具合を除去**することができます。ツール オプションの変更は、イメージを右クリックして表示されるメニューで行います。このツールに対応するホットキーは、**G** キーです。
-  : **消しゴムツール**を有効にして、 を使用した領域の編集や削除をすることができます。この操作に対するホットキーは、**E** キーです。

その他のツール:

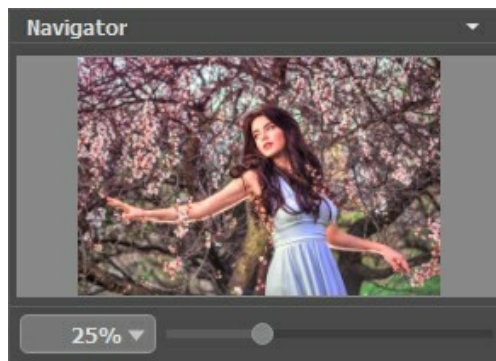
-  : スタンドアロン版のみになりますが、**切り取りツール**を有効にし、**境界線の切り取り**やサイズの縮小などを行うことができます。この操作に対するホットキーは、**Alt + C** キーです。
-  : **【手のひら】** ツールを有効にし、画像を動かしてウィンドウに表示されていない部分を表示できます。画像上でクリックしたままドラッグして表示画像を動かします。この操作に対するホットキーは、**H** キーです。

ツールのアイコン  をダブルクリックすると、イメージは、イメージウィンドウに合わせたサイズで表示されます。

-  : **【ズーム】** ツールを有効にし、イメージの表示サイズを変更します。ズームイン (拡大) するには、イメージをクリックします。ズームアウト (縮小) するには、**Alt** キーを使用します。このツールに対応するホットキーは、**Z** キーです。

ツールのアイコン  をダブルクリックすると、イメージが 100% の倍率 (実際の大きさ) で表示されます。

イメージをナビゲートしたり、拡大/縮小するには **ナビゲーター**を使用します。ここには、イメージの縮小版が表示されます。赤枠で囲まれた領域は、現在メイン ウィンドウに表示されている領域です。赤枠の外はグレー表示になり、ウィンドウに表示されません。表示されていない部分を表示するには、赤枠をドラッグします。赤枠を移動させるには、マウスをクリックしたままカーソルをドラッグします。



さらに、スクロールキーの使用、キーボードのスペースキーとマウスをクリックしたままイメージをドラッグすることで、メイン ウィンドウ内に表示されるイメージを変えることができます。マウスのスクロールホイールを使うとイメージは上下に動き、**Ctrl** キー、Mac の場合 **⌘** キーを押しながらの場合は左右に動きます。**Alt** キー、Mac の場合 **Option** キーを押しながらの場合は、拡大/縮小されます。スクロールバーを右クリックすると、クイックナビゲーション メニューが表示されます。

スライダーを使用して、**イメージ ウィンドウ**内のイメージを拡大/縮小することができます。スライダーを右に動かすと、イメージは拡大されます。スライダーを左に動かすと、イメージは縮小されます。

さらに、拡大/縮小率の欄に値を入力して **Enter** キー、Mac の場合 **Return** キーを押すことによって、拡大縮小を行うこともできます。よく使用する倍率の値はドロップダウン メニューにも用意されています。

画像の拡大/縮小は、ホットキーを使っても行えます。**+**または **Ctrl** + **+** キー、Mac の場合 **⌘** + **+**) で拡大、**-**または **Ctrl** + **-** キー、Mac の場合 **⌘** + **-**) で縮小します。

ナビゲーターの下には、**設定パネル**があり、設定に関連するパラメーターを調整できます。

[プリセット]フィールドでは、現在の設定内容をプリセットとして保存できます。保存したプリセットは後で使用できます。

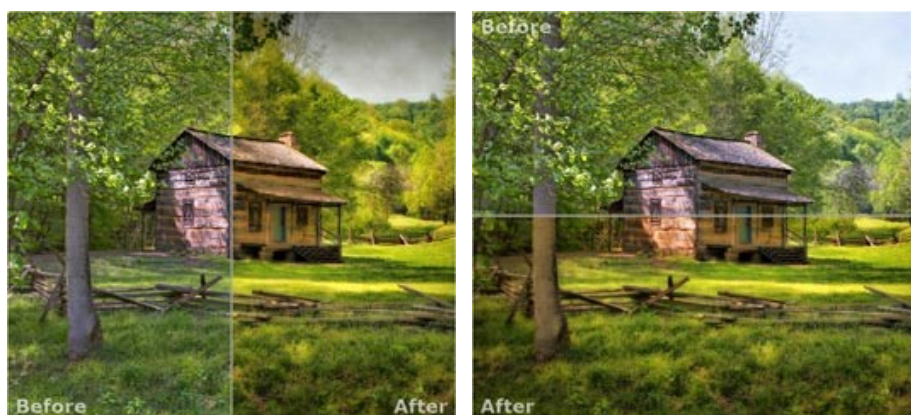
[ヒント]フィールドでは、プログラム使用に関する様々な情報が得られます。カーソルが指しているパラメーターやボタンの説明が表示されます。ヒントの表示位置や表示/非表示の設定は、プログラムの**環境設定**で行うことができます。

イメージの表示モード

AKVIS HDRFactory のツールバーの下部には、イメージウィンドウの表示を選択できる 3 種類のボタンがあり、**処理前** と **処理後** タブに分類されます。



- 一番上のボタンは、元の画像と処理後の画像の表示方法に関するサブメニューが表示されます。
 - ボタンは、標準的なイメージウィンドウで、**【処理前】**タブと**【処理後】**タブを切り替えることができます。
 - と は、縦もしくは横に分断されたイメージウィンドウになります。元のイメージと処理後のイメージが両方とも部分的に表示されます。**【処理前】**および**【処理後】**の2つのタブが1つのイメージウィンドウを構成します。



この配置によって、**【処理前】**と**【処理後】**の縦横比を変えてスプリッターをドラッグすることができます。

- と も、縦もしくは横に分断されたイメージウィンドウになります。しかし、前述のものとは異なり、元のイメージと処理後のイメージの同じ部分が表示されます。



注意: 一度に同じ画面で元のイメージと処理結果を比較したい場合には、半分のウィンドウを選択します。処理後のイメージを全体としてみたい場合には、最初に挙げた標準的なイメージウィンドウを選択します。

- は分割ウィンドウで表示している場合において、元のイメージと処理後のイメージの位置を入れ替えます。
- 一番下のボタンは、イメージウィンドウの背景色を選択します 、 、 のいずれかをクリックすると、背景色が白、グレー、黒に変わります。 をクリックすると、**【色の選択】**ダイアログが表示され、背景色を任意の色に変更できます。


操作方法

AKVIS HDRFactory では、HDRイメージを同じシーンの複数の画像から生成することに加え、1枚の画像から生成することもできます。

以下の手順を実行します。

ステップ 1: イメージ (1枚または複数枚) を開きます。

スタンドアロン版で作業する場合:

[ファイルの選択]ダイアログボックスが開き、画像を選択するには、コントロールパネルの  ボタンをクリックするか、ショートカットキーの **Ctrl+O** キー、Mac の場合 **⌘+O** キーを使用します。


プログラムがサポートする画像形式は、JPEG、TIFF、BMP、PNG、WEBP、RAWです (CRW、NEF、ORF、PEF 等: [一覧はこちらをご覧ください](#))。ワークスペースにイメージをドラッグすることもできます。

- プラグイン版で作業する場合:

使用するフォトエディター の[ファイル] > [開く]コマンドを使用して画像を開きます。

その後、フォトエディターの[フィルター (または効果)]メニューから AKVIS HDRFactory プラグインを呼び出します。

AliveColors の場合、[効果] > [AKVIS] > [HDRFactory]、
Adobe Photoshop の場合、[フィルター] > [AKVIS] > [HDRFactory]、
Corel PaintShop Pro の場合、[効果] > [プラグイン] > [AKVIS] > [HDRFactory]、
Corel Photo-Paint の場合、[効果] > [AKVIS] > [HDRFactory]をそれぞれ選択します。

プラグイン版ではスタンドアロン版同様、フォトエディターから読み込んだ1枚の画像を処理することや複数の画像から HDR画像を作成することもできます。[HDR] タブでの作業を行う場合は、 をクリックして使用する画像すべてを開く必要があります。



ステップ 2: [プレビュー]パラメーターの値を選択します。

[プレビュー]パラメーターは、補助的なツールで、実際のイメージの大きさを変更することはありません。元のイメージ サイズや詳細部分はそのまま維持されます。最良の結果を得ようと各種設定を変更したとき、前処理の段階を高速化できるパラメーターです。

[HQ]オプションを選択すると、元のイメージ サイズ (幅と高さ) は、変化しません。処理にかかる時間は増えますが、プレビューの品質は最も高くなります。[高速]オプションを選択すると、イメージ サイズは 1/8 になります。処理速度も短くなりますが、品質は少し劣ります。中間の値では、イメージのサイズが半分または 1/4 になります。



注意:パラメーターを調整した場合、HQ処理を実行して、各種設定が最適かどうかを確認することをお勧めします。

ステップ 3: 露出度の異なる複数の画像を読み込むと、[HDR]タブでそれらの画像が開きます。

ステップ 4: 画像を1枚だけ読み込んだ場合は、直接 [調整]タブで画像を開きます。このタブで微調整を行うか、1枚の画像から生成したHDRイメージのような画像を生成します。

開いている複数の画像の微調整や最初のタブ ([HDR]タブ) で生成した HDRイメージに更なる処理を適用することができます。



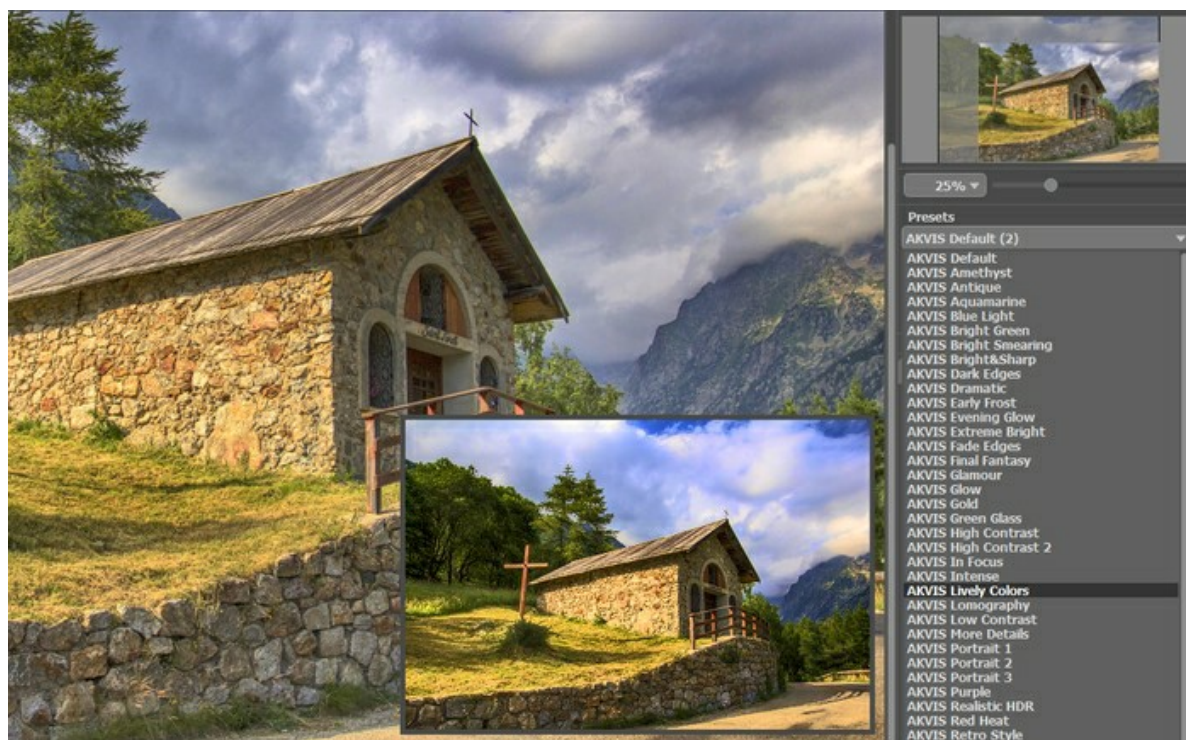
ステップ 5: Home Deluxe と Business のライセンスをお持ちのユーザーは、**ゴースト除去**  と **部分補正**  モードも利用できます。

ステップ 6: **【効果】** タブを使うことによって、淡い輝きの追加、エッジの明暗、色相の調整、色温度の追加を行うことができます。

ステップ 7: 変更したパラメーターの設定で満足の行く結果が得られた場合、それらを**プリセット**として保存し、後で使用できます。設定を保存するには、**【プリセット】** 欄にプリセット名を入力し、**【保存】** ボタンをクリックします。

注意: **【HDRi】**、**【調整】**、**【効果】** タブには、共通のプリセット一覧が用意されています。新しいプリセットを作成すると、すべてのタブで設定すべてが利用できるようになります。

カーソルをドロップダウン リストのプリセット名に移動させると、**プリセット プレビュー** ウィンドウに適用結果が表示されます。



プリセットを指定してイメージを処理するには、リストから目的のプリセットを選択します。イメージ処理は指定したプリセットの設定で実行されます。

次から、プログラムを実行した際には、これらの各種設定が既定値として使用されます。パラメーターを変更した場合、**【リセット】** ボタンをクリックすることで、指定したプリセットの初期設定に戻すことができます。

プリセットを削除するには、ドロップダウンメニューから目的のプリセットを選択し、**【削除】** をクリックします。

ステップ 8: 更なる画像修正を行う場合は、**【後処理】** タブを使用します(スタンドアロン版でのみ利用可能)。

ステップ 9: スタンドアロン版では、**印刷** を行うこともでき、その場合は、 をクリックします。

ステップ 10: 処理したイメージを保存します。

- スタンドアロン版で作業する場合:



をクリックすると、[名前をつけて保存]ダイアログボックスが開きます。ファイル名を入力し、ファイルの種類 (TIFF、BMP、JPEG、PNG、WEBP) を選択し、保存先フォルダーを選択します。

プラグイン版で作業する場合:



をクリックして適用します。AKVIS HDRFactory プラグインが終了し、画像がフォトエディターのワークスペースに表示されます。

[ファイル] > [名前を付けて保存]コマンドを使用して[名前を付けて保存]ダイアログボックスを開き、ファイル名の入力、ファイルの種類の選択、保存先フォルダーの指定を行います。

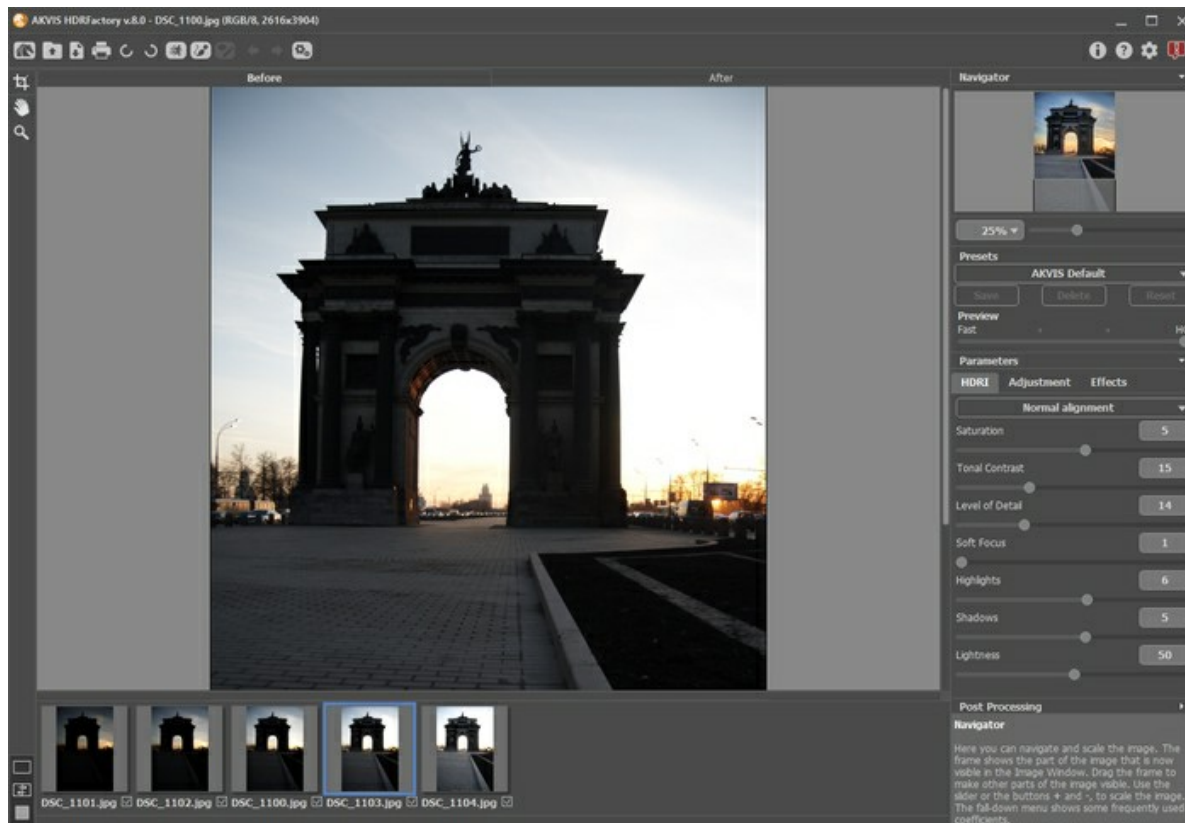
HDRイメージの作成

このチュートリアルでは、AKVIS HDRFactory を使って、**HDRイメージ** を異なる露出度で撮影された複数の写真 から生成する方法を紹介します。

ステップ1: AKVIS HDRFactory のスタンドアロン版、またはフォトエディタ(AKVIS HDRFactory のプラグイン版を使用の場合)を起動させ、HDRイメージ作成に使用する画像をすべて開きます。

複数の画像を開く場合は、スタンドアロン版、プラグイン版共にプログラムの  ボタンをクリックし、**Ctrl** キーを押しながら、すべての画像を選択します。

イメージ ウィンドウの下には、開いたすべての画像のサムネイルが表示されます。選択している画像(1枚)は青で囲まれ、その画像が**【処理前】** タブに表示されます。



異なる露出度の画像

ヒント: [ここをクリック](#) すると、デジカメで異なる露出度の画像を何枚か撮影する手順を確認できます。

注意: 画像に露出情報が含まれていない場合、**【露出値の設定】** ダイアログボックス が表示され、値を手入力できます(ダイアログボックスの表示は、ショートカットキー **Ctrl + E** を使うこともできます)。

ダイアログボックスを開くと、プログラムが自動的に値を計算して表示しますが、[ステップ値]のドロップダウン メニューから選択するか、各画像の露出値を個別に設定して値を変えることができます。

【リセット】 ボタンをクリックすると、プログラムが自動的に算出した露出値に戻すことができます。

【適用】 ボタンをクリックすると、露出値の設定を適用した画像が表示されます。

【キャンセル】 ボタンをクリックすると、ダイアログボックスを閉じます。

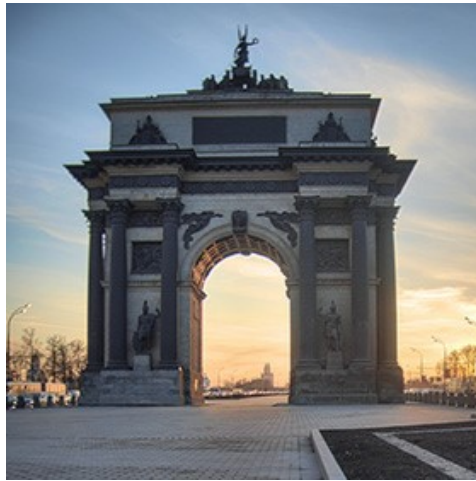
ステップ2: 最後に使用されたパラメーター設定を使用して画像が自動的に処理されます(初めて選択した場合はデフォルトの設定で処理)。結果は**【処理後】**タブに表示されます。

ステップ3: **プレビュー サイズ** の値を選択します。これは補助的なツールで、実際のイメージの大きさを変更することはありません。

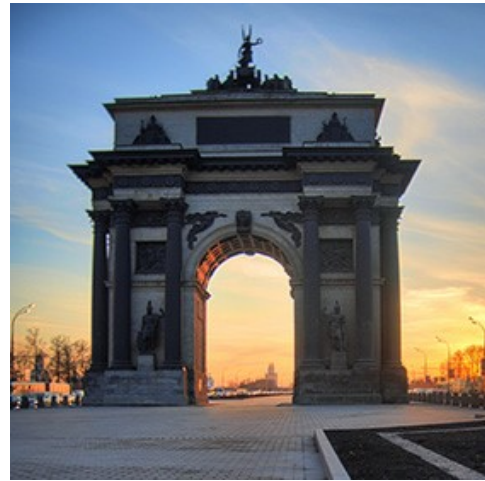
ステップ4: アライメント品質を**高速アライメント**、**通常アライメント**、**高品質アライメント**のいずれかを選択します。アライメント品質が良いほど、処理に時間がかかります。**通常アライメント** の使用が推奨されています。アライメントが必要ないという確証がある場合にのみ、**【アライメントなし】**を選択します。

ステップ5: AKVIS プリセットをそのまま使用することもできますが、パラメーターを任意に調整することもできます。

彩度(設定可能値が-50 から 50):イメージ内の色の強度を変更します。

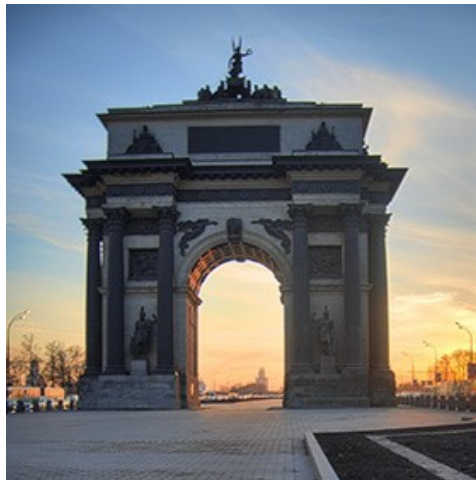


彩度 = -50



彩度 = 50

階調コントラスト (設定可能値が 0 から -50): このパラメーターは、勾配のある領域の明るさを変更します。

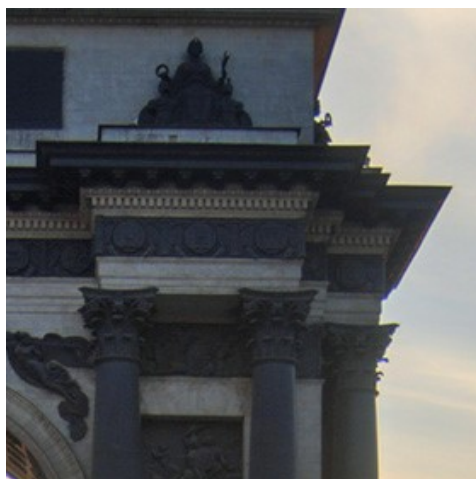


階調コントラスト = 5

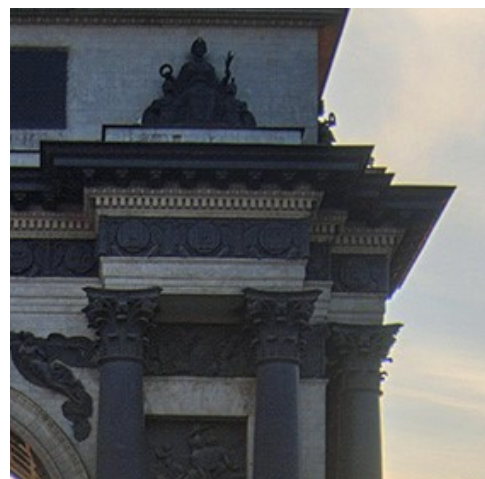


階調コントラスト = 50

詳細レベル(設定可能範囲は 0 から 50): デティールをどの程度強調するかを定義するパラメーターです。値が高い場合に、ノイズが発生することがあります。



詳細レベル = 10

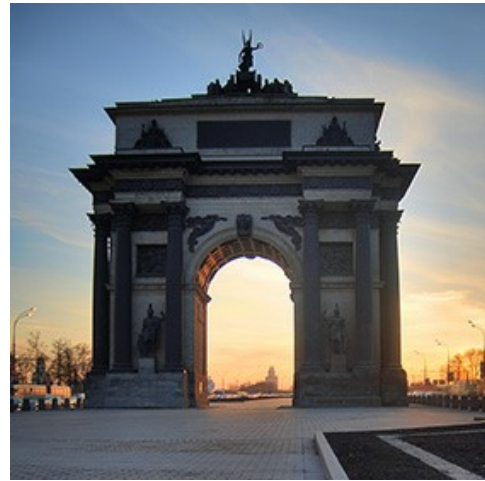


詳細レベル = 40

ソフトフォーカス(設定可能範囲は 1から 15): 画像の色と明るさを調整するパラメーターです。他のパラメーターの効果を減少させます。

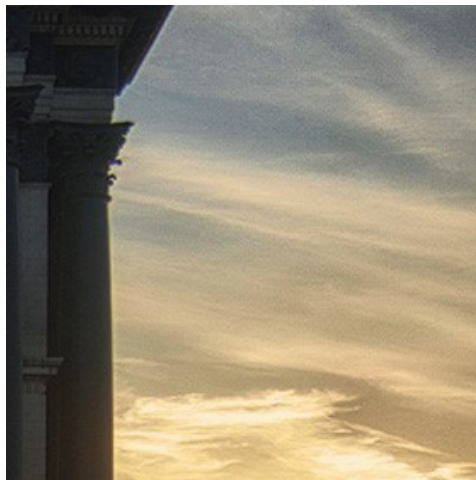


ソフトフォーカス = 1

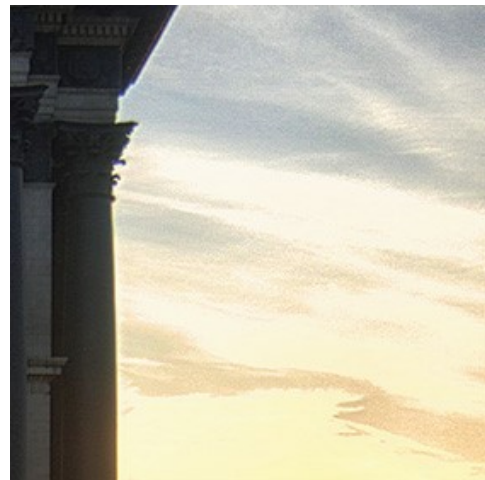


ソフトフォーカス = 10

ハイライト(設定可能値は -50 から 50): 画像の明るい領域の明るさを調整するパラメーターです。明るい領域を暗くする値を減少し、より明るさを増します。

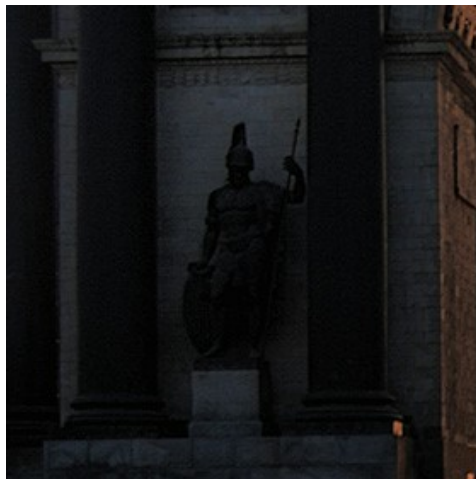


ハイライト = -30

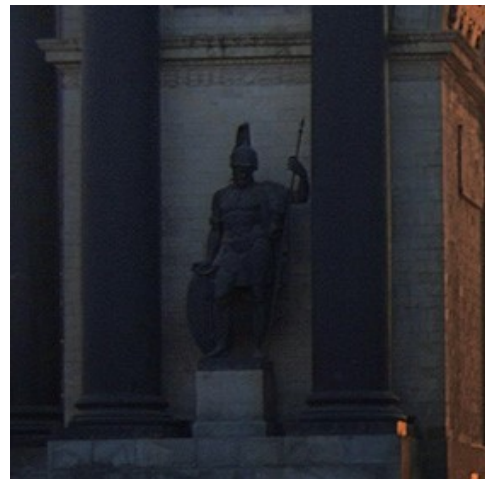


ハイライト = 30

シャドウ(設定可能値は -50 から 50): 画像の暗い領域の明るさを調整するパラメーターです。影を暗くする値を減少し、より明るさを増します。



シャドウ = -30



シャドウ = 30

明るさ(設定可能範囲は 0 から 100): イメージ全体の明るさを変更して、画像を明るくすることができるパラメーターです。

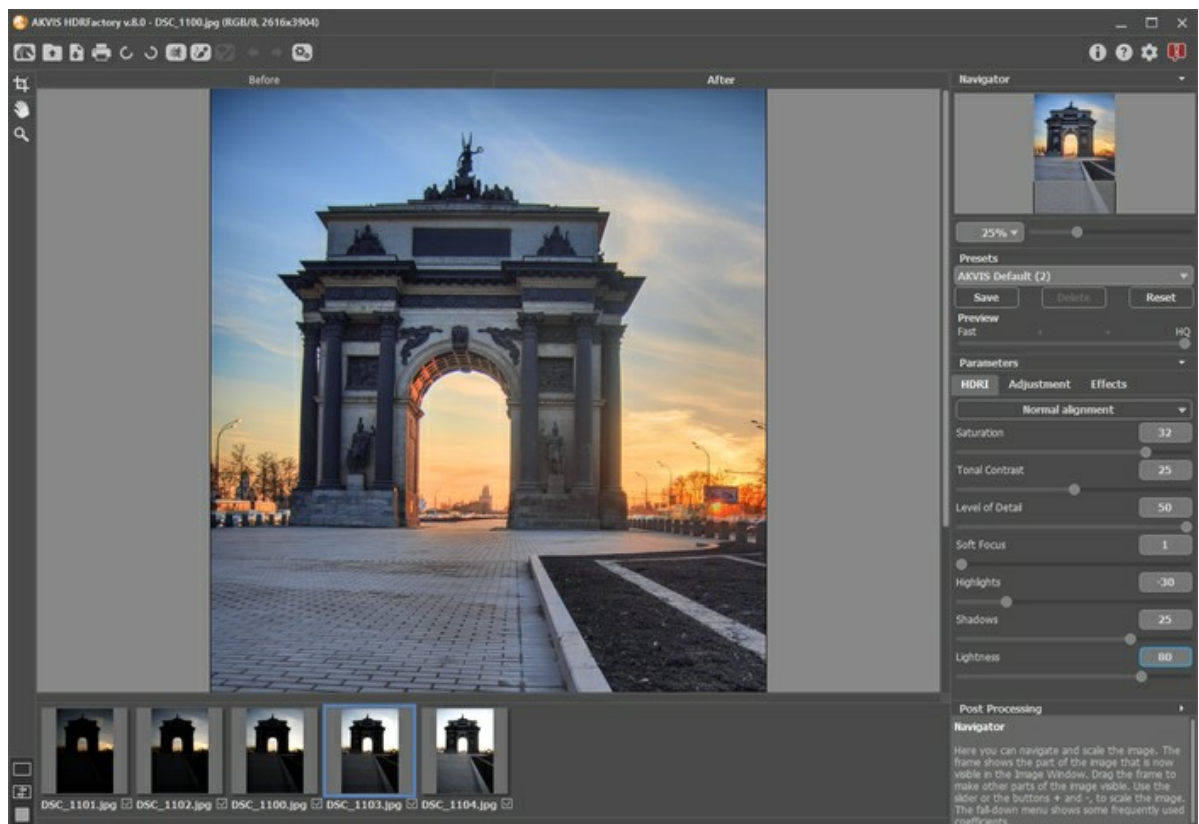


明るさ = 25



明るさ = 75

画像処理は自動的に開始され、設定の変更はリアルタイムで**【処理後】**タブに表示されます。



結果

注意: **【調整】**と**【効果】**タブを使用して、HDRイメージに更なる効果を適用することができます。

Home Deluxe と Business のライセンスでは、**ゴースト除去**  と **部分補正**  モードも利用できます。

ステップ6: 変更したパラメーターの設定を **プリセット**として保存し、後で使用できます。設定を保存するには、**【プリセット】**にプリセット名を入力し、**【保存】**ボタンをクリックします。

HDRイメージの「ゴースト」除去

HDR イメージの生成には、**同じシーンを異なる露出度で撮影した画像のセット**が必要です。

しかし、人や車などが多く行きかう道などを撮影した場合、人、車、動物などがランダムに含まれる場合があります。これらは各写真で位置がわずかにずれてしまいます。すべての画像を統合した際に、これらのオブジェクトが様々なところに、お化けのように背景が透けた半透明な状態で現れてしまいます。





少し前までは、このような「ゴースト」を取り除くのは時間のかかる面倒な作業でした。グラフィック **HDRFactory** を使えば、そのような「ゴースト」をあっという間に取り除くことができます。

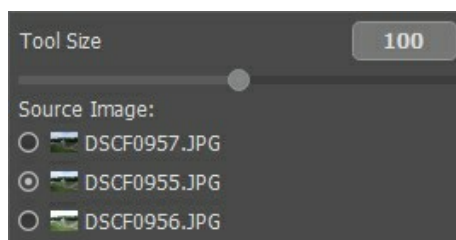
エディターと膨大な時間が必要とされていました。**AKVIS**

注意: この機能は、**Home Deluxe版**と**Business 版**でのみ利用できます。


イメージ内の「ゴースト」を取り除くには、次の手順に従ってください。

ステップ1: ゴースト除去モード  を有効にし、 ツールを選択してください。

ステップ2: イメージ内を右クリックしてツールのメニューを開きます。そこではツールのサイズの変更と、問題の領域(ゴースト)を修正するためのソース画像としてオリジナルの画像を1枚選択することができます。





最も良い露出度で、かつ修正するオブジェクトがはっきりと映し出されているイメージを選択してください。

ステップ3:  で「ゴースト」の部分塗りつぶします。ゴーストそのものの大きさより少し広い範囲を選択したほうが良い結果が望めます。


このツールを使用できるのは、**【処理後】**タブでのみです。



ゴースト除去 ツール  を使用するとすぐに処理は行われますが、選択範囲の指定(塗りつぶし)によって変化がわかりにくい場合がほとんどです。

処理結果を確認するには、 をクリックして選択範囲の色を隠します!



結果に満足できない場合、消しゴム ツール  を使って選択範囲を編集したり、別のイメージを選択して編集を行うことができます。

調整と擬似HDR

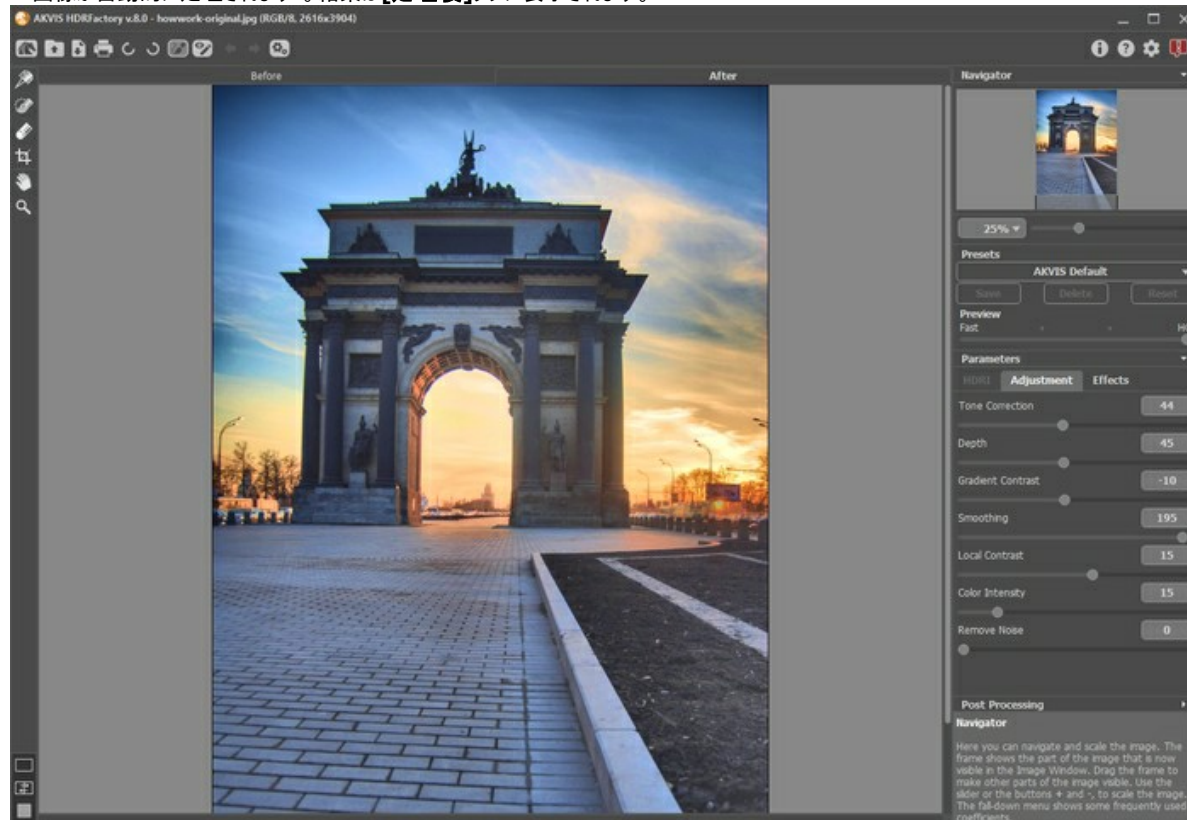
[調整]タブでは画質を向上させることもできますし、1枚の画像からHDRのような効果を作り出すこともできます。

HDR イメージの生成には、同じシーンを異なる露出度で撮影した画像のセットが必要です。しかし、デジカメに自動段階露出モードがない場合やカメラを固定できない場合など、露出度の異なる画像を撮影できないことがあります。そのため、暗い部分と明るい部分の両方で詳細が見えない状態の1枚の写真しかありません。例えば、景観がはっきりと映し出されている一方、空が明るく、白一色の単調な空になっていることがあるかもしれません。

この**[調整]**タブ内のパラメーターを使って、明るい部分や暗い部分の詳細を鮮明にしたり、イメージに深みを与えたり、彩度を加えたりできます。微調整を行う場合も、印象を大きく変えるHDRイメージのような効果を与える場合にも、非常に有効です。

注意: 複数の画像を使って、**[HDR]** タブでHDRイメージを生成した場合、**[調整]** タブは生成したイメージをさらに修正するための2段階目の作業タブとして利用できます。

ステップ1: 画像が自動的に処理されます。結果は**[処理後]**タブに表示されます。



デフォルト設定での調整

ステップ2: **プレビュー サイズ**の値を選択します。これは補助的なツールで、実際のイメージの大きさを変更することはありません。元のイメージ サイズや詳細部分はそのまま維持されます。

ステップ3: プリセットをそのまま利用することもできますが、任意でパラメーターを調整することもできます。

階調補正 = 0周辺情報を考慮に入れつつ、イメージの明るさをどの程度変更するかを指定します。スライダを右へ動かすと、このパラメーターがイメージに与える影響は強まります。露出オーバーの部分や色あせた部分の詳細を鮮明にできます。



色調補正 = 20



色調補正 = 70

深さ (設定可能範囲は 1 から 100): このパラメーターは、イメージに深みを加えたり、減らしたりできます。パラメーターの値を上げると、画像の情報量が増しより深みが出ます。

注意: **[色調補正]** が 0 に設定されている場合、**[深さ]** の値を変えても変化はありません。

そのため、まず**[色調補正]**を調整し、その後少しずつ**[深さ]**を調整して明るい部分と暗い部分の詳細が鮮明になるよう調整することをお勧めします。満足のいく結果が得られるまで、この2つのパラメーターを順番に調整します。



深さ = 1

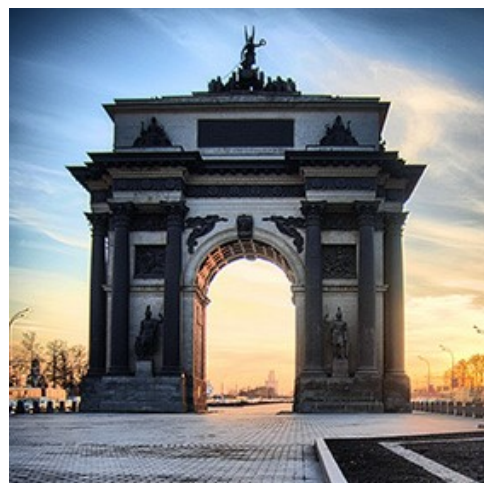


深さ = 100

コントラスト勾配(設定可能範囲は -100 から 100): このパラメーターは、勾配のある領域のコントラストに影響します。スライダを0より右に動かすとコントラストは強まり、スライダを左に動かすと、コントラストは弱まります。



コントラスト勾配 = -50

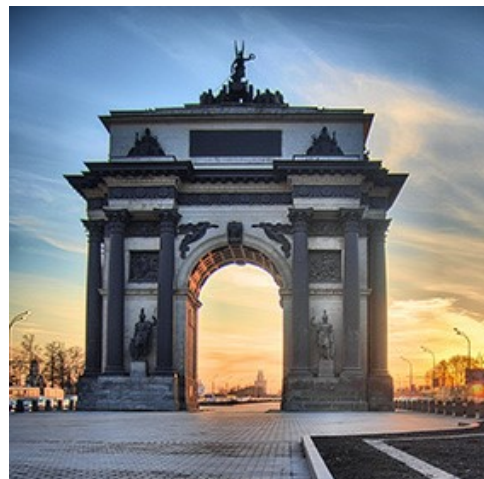


コントラスト勾配 = 50

滑らかさ (設定可能範囲は 0 から 200): 最初の2つのパラメータ([色調補正]と[深さ])の値を高く設定することで、ノイズを軽減できます。このパラメーターでは、境界部分の鮮明度を大幅に変えることなく、ノイズを軽減します。このパラメーターの値が高く設定されている場合、イメージの質感(立体感)が弱まります。



滑らかさ = 15



滑らかさ = 150

部分的なコントラスト(設定可能範囲は -100 から 100): このパラメーターは、暗い部分と明るい部分の境界部分でのピクセルの差を大きくすることにより、詳細部分が強調されます。このパラメーターは、ミッドトーン領域に主に影響します。このパラメーターの値を上げることで、イメージ全体がより鮮明になります。



部分的なコントラスト = -50

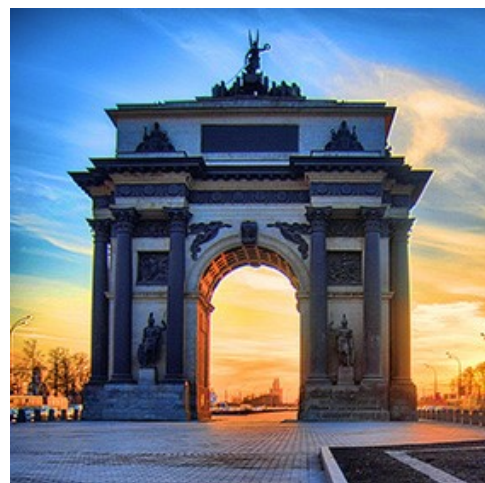


部分的なコントラスト = 50

色の強度(設定可能範囲は 0 から 100): このパラメーターの値を上げることにより、イメージ内のすべての色の強度を強めることができます。値が高い場合に、ノイズが発生することがあります。他のプログラムで編集した時に元の色情報が失われた状態でこのパラメーターを使用すると、予想とは異なる結果になることがあるかもしれません。例えば、イメージないのある部分では色の強度が極端に弱まってしまうかもしれません。



色の強度 = 10



色の強度 = 60

ノイズの除去(設定可能範囲は 0 から 25): 滑らかさの度合いを増すことで、ノイズや不具合を除去するパラメーターです。値が高いほど、結果はより滑らかになります。



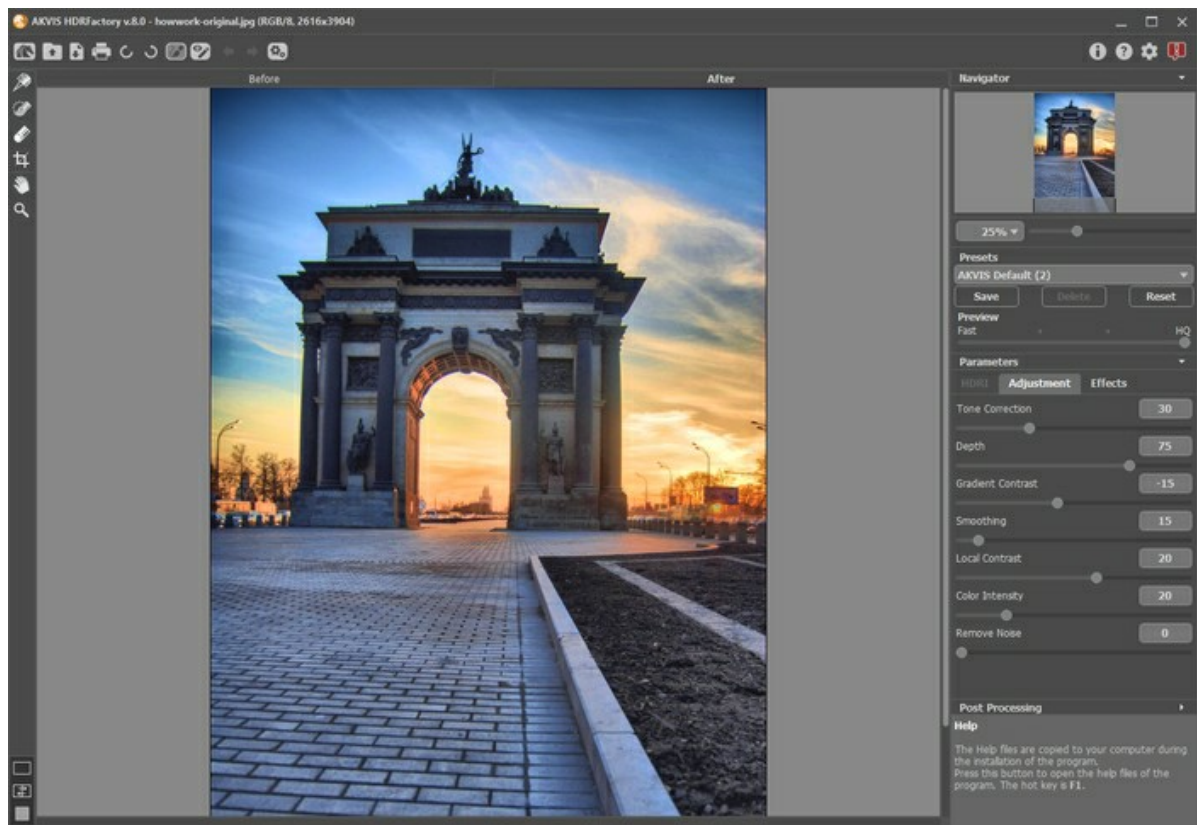
ノイズの除去 = 0



ノイズの除去 = 10

画像処理は自動的に開始され、設定の変更はリアルタイムで**[処理後]** タブに表示されます。

その結果は次のようになります。




結果

注意: **【効果】** タブを使用して、HDRイメージに更なる効果を適用することができます。

Home Deluxe/Businessライセンスでは、**部分補正**ツール  を使って、特定部分の処理結果を微調整することができます。

ステップ4: 変更したパラメーターの設定を**プリセット**として保存し、後で使用できます。設定を保存するには、**【プリセット】**欄にプリセット名を入力し、**【保存】**ボタンをクリックします。

部分補正

Home Deluxe/Business ライセンスでは、**部分補正** モード  が利用できます。このモードでは、特定部分の処理結果を微調整することができます。




元のイメージ







結果

更に処理を必要とする部分の選択は、**ツールバー**のツールを使用します。2種類の部分補正ツールから選択できます。



ピン留めツール : 楕円形の領域内で部分補正を行ないます。マウスをクリックすることで、ピンを追加することができます。以下のマーカーを使用して、サイズと形を調整できます。

- **外側の線**: 選択したピンの補正領域を制限できます。
- **内側の線**: 補正領域と非補正領域の間の遷移の滑らかさを指定します。
- **点線**: 補正領域の回転、引き伸ばし、圧縮を行います。

ピンを移動させる場合、ピンにカーソルを移動（カーソルが、4方向の矢印  に変化）し、ドラッグします。いずれかの領域のサイズを変更する場合、該当する領域の線にカーソルを移動（カーソルが両方向の矢印  に変化）し、ドラッグします。修正設定を調整するには、ピンを右クリックします。ピンを削除するには、**Delete** キーを使用します。

補正領域 : ツールを使用すると、任意の形やサイズの大きな領域を選択できます。各領域ごとに設定を行い、処理できます。**消しゴム**  を使用して簡単に選択範囲の編集や除去ができます。ツールのサイズを調整するには、**イメージ ウィンドウ** を右クリックします。補正領域を右クリックすると、処理パラメーターを含むポップアップメニューが表示されます。



 /  を使用して選択範囲とピンの表示/非表示を切り替えます。

処理パラメーターを変更するには、ピンや選択範囲を右クリックしてポップアップメニューを呼び出します。

選択範囲を表示 チェックボックスをオフにすると選択範囲を非表示にして画像を表示することができます。

露出度 (設定可能範囲は -100 から 100): 露出度が低すぎると、暗い領域のディテールが欠如して画像が暗くなります。露出度が高すぎると、明るい領域のディテールが失われ、画像が明るくなります。



露出度 = -50



露出度 = 50

彩度 (設定可能範囲は -100 から 100): 色の強度を変更するパラメーターです。



彩度 = -50



彩度 = 50

コントラスト (シャドウ) (設定可能値は 0 から -200): 暗い領域をさらに暗くすることができるパラメーターです。



コントラスト (シャドウ) = 10



コントラスト (シャドウ) = 100

コントラスト (ハイライト) (設定可能値は 0 から -200): 明るい領域をさらに明るくすることができるパラメーターです。



コントラスト (ハイライト)= 50



コントラスト (ハイライト)= 150

色温度 (設定可能値は -100 から 100): 画像を冷たいイメージや温かいイメージにすることができるパラメーターです。0 よりも左にカーソルを移動した場合、寒色の (青い) 部分が増えます。0 よりも右にカーソルを移動した場合、暖色の (黄色い) 部分が増えます。

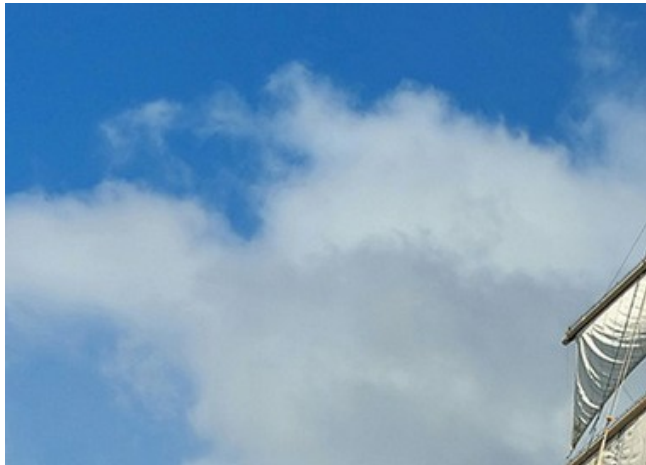


色温度 = -50

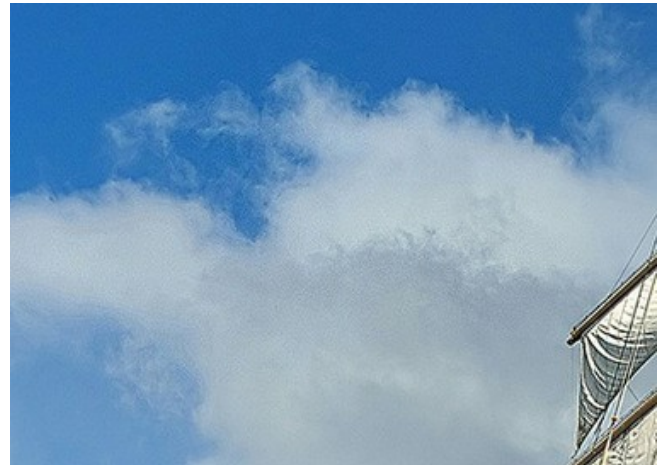


色温度 = 50

ディテール (設定可能範囲は -100 から 500): パラメーターの値を上げることで画像が鮮明になります。値が 0 の場合、ぼかしがかったようになります。



ディテール = 0



ディテール = 500

しきい値 (設定可能範囲は 0-100): 処理するピクセルを調整するパラメーターです。



しきい値 = 5



しきい値 = 50

遷移 (設定可能範囲は 0-100): 隣接したピクセルの滑らかなトランジションを作成するパラメーターです。



遷移 = 30



遷移 = 80

範囲 (設定可能範囲は 0-5000): 選択範囲を超えて効果を拡散し、処理範囲を増やすことができるパラメーターです。



範囲 = 100



範囲 = 1000

パラメーターの変更は自動的に適用されます。[デフォルト]ボタンをクリックすると、すべての設定がデフォルトの値にリストアされます。



結果

効果

【効果】タブを使用して、画像の色調の調整、暖色または冷色の色合いの追加、ソフトグロー効果の適用、画像エッジの明暗化およびシーン内のメインオブジェクトの強調表示を行うことができます。

ステップ1: 写真はデフォルトのパラメータ値で処理されます。変換結果は**【処理後】**タブに表示されます。



デフォルト設定での効果

デフォルト設定での調整ではまだ不十分と感じる場合、以下の手順に従ってさらに作業を続けます。

ステップ2: **プレビュー サイズ**の値を選択します。これは補助的なツールで、実際のイメージの大きさを変更することはありません。元のイメージ サイズや詳細部分はそのまま維持されます。

ステップ3: プリセットをそのまま利用することもできますが、任意でパラメーターを調整することもできます。

ホワイトバランス:

色温度 (-100 +100): イメージの色温度の上げ下げを行うことができます。0より左に設定すると、冷たい(青い)色調が増え、0より右に設定すると、温かい(オレンジ)色調が増えます。



色温度 = -50



色温度 = 50

色合い (-100 +100): イメージの色合いを調整できます。マイナスの値を設定すると、より緑がかった色合いのイメージになり、プラスの値を設定すると、より紫がかったイメージになります。



色合い = -50



色合い = 50

グロー:

強度 (0-100): グロー効果の強度を設定します。



グロー

ビネット:

カラー: ビネットの色を選択します。

強度: ビネットの色の量を調整します。



暗いエッジ



明るいエッジ

距離 (0-100): シェーディングを行う開始点(中心からの)距離を設定します。



距離 = 5



距離 = 50

形 (-100 +100): イメージ内の陰影がない部分の形w設定します。マイナスの値では丸い角を持つ長方形、プラスの値では丸の形になります。



形 = -50



形 = 50

滑らかな遷移 (0-100): 影の部分の境界をどの程度ぼかすかを設定します。パラメータ値を高く設定すると境界部分はよりぼやけます。



滑らかな遷移 = 10



滑らかな遷移 = 50

位置: 白いマーカーを移動すると、ビネットの位置を変えることができます。中心の座標が、X と Y の各フィールドに表示されます。



ビネットの移動

画像処理は自動的に開始され、設定の変更はリアルタイムで**【処理後】** タブに表示されます。


その結果は次のようになります。



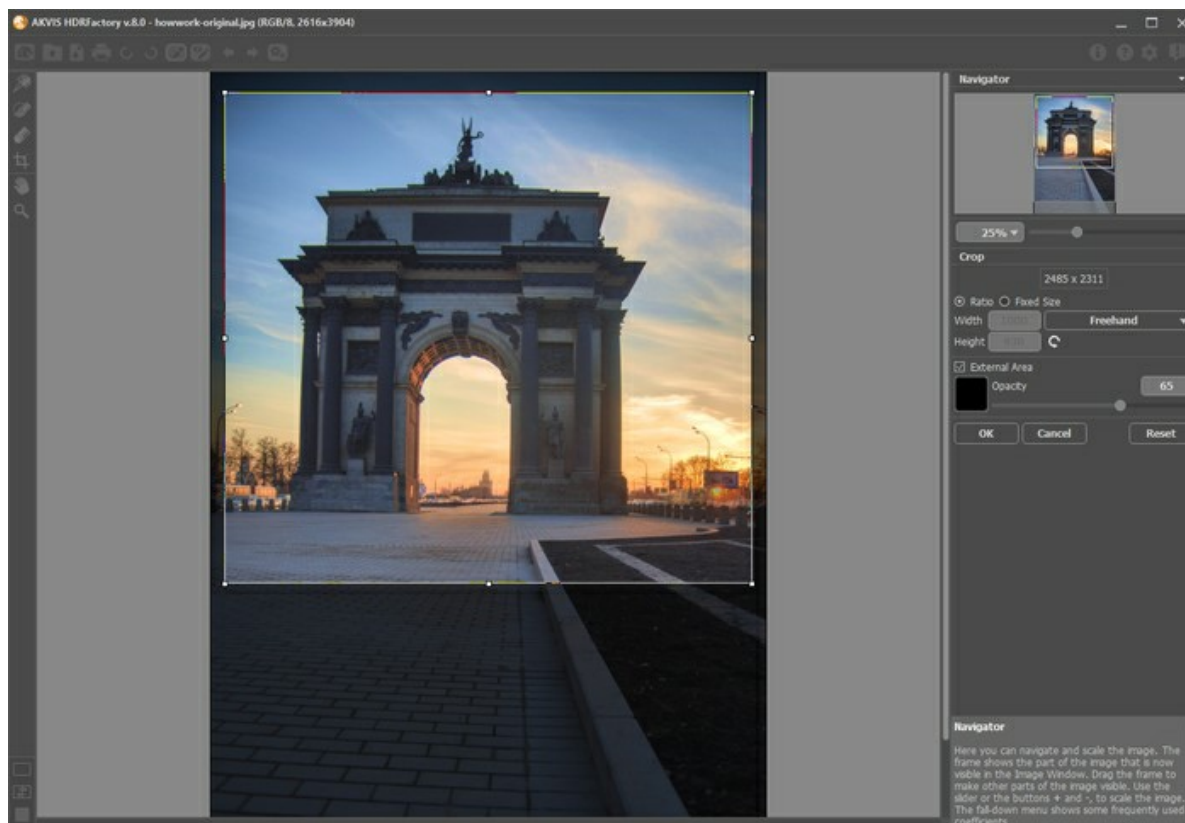
結果

ステップ4: 変更したパラメータの設定で満足の行く結果が得られた場合、それらを**プリセット**として保存し、後で使用できます。設定を保存するには、**【プリセット】**欄にプリセット名を入力し、**【保存】**ボタンをクリックします。

切り取り

切り取り ツール  は画像内の不要部分の切り取りやサイズの縮小などを行うことができます。構成(バランス)を調整したり、曲がった写真のエッジ部分を揃えたり、画像を長方形から正方形、またはその逆に切り取ったりすることができます。

このツールは、HDRFactory のスタンドアロン版で利用できます。**Alt** + **C** を押すと、すぐにツールを切り換えられます。



切り取り領域を選択

長方形の枠は処理結果として保存されたイメージを表示しています。枠の外にある部分はすべて切り取られます。初期設定では、イメージ全体が選択されます。


切り取りは、フレームの枠や角をドラッグして行うことができます。縦横の比率を維持するには、**Shift** キーを使用します。


新しいイメージのサイズとツールのオプションは、**設定パネル**に表示されます。

注意:

イメージのサイズを大きくすることはできません。縮小するだけです。

ビネットとその他の **効果** は新しいサイズに適用されます。

枠そのものを移動する場合は、カーソル  を枠内に移動させ、マウスの左ボタンを押しながらドラッグします。

領域を回転するには、フレーム外にカーソル  を移動させ、マウスの左ボタンで移動させます。**Alt** キーを押すと、回転角度は5度刻みに行われます。

結果を適用して、フレーム外の部分を切り取るには、**設定パネル**の **[OK]** をクリックするか、**Enter** を使用します。

操作をキャンセルして終了するには、**[キャンセル]** をクリックするか、**Esc** キーを使用します。

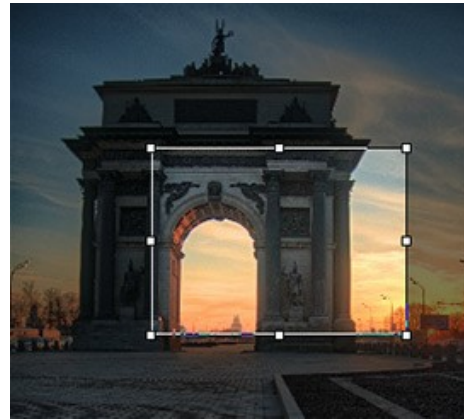
ツールを有効にしたまま元の状態に戻すには、**設定パネル**の **[リセット]** ボタンを押します。

切り取った部分の視覚化をカスタマイズすることができます。

[外部領域] チェックボックスがオンの場合、枠外の領域は、指定した色でハイライト(色付け)されます。



チェックボックスがオフ



チェックボックスがオン

視覚化オプションを調整します。

カラー: 色が表示されている四角をクリックして、**[色の選択]**ダイアログを開きます。



黄色



白

不透明度: ハイライトに使用する色の不透明度を指定します。



不透明度 = 20



不透明度 = 60

後処理

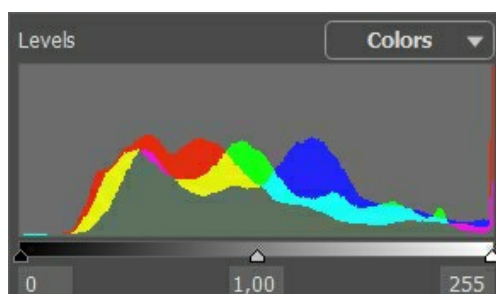
HDR処理後に更なる修正を行う場合は、**【後処理】**タブへ切り替えます。このタブは**スタンドアロン版**でのみ利用できます。一般的な画像編集ソフトでは、このような修正が極当たり前にできるため、プラグイン版でこのタブは必要ないのです。

このパネルには、**ヒストグラム**に加え、**明るさ**、**コントラスト**、**ガンマ**、**彩度**の4つのパラメーターが含まれています。



ヒストグラムは、イメージの色調範囲を表示するグラフです。横のラインで明るさの値を設定します(左端が最も暗く、右端が最も暗い)。縦のラインは、この明るさの値を持つピクセル数を設定します。

ヒストグラムの下には、イメージのコントラストを変更する3つのスライダがあります。



右側の端点は、最大の明るさ(ホワイトポイント)を持つピクセルを表します。ヒストグラムがこのピクセルを持たない場合、イメージにはホワイトポイントは含まれません。白いスライダを左へ移動すると、スライダの位置に対するポイントは、最大の明るさ(255)を推測し、この値を持つピクセルは白く映ります。それに従って、他のピクセルの明るさは再計算され、イメージは明るくなります。

左側の端点は、最大の暗さ(ブラックポイント)を持つピクセルを表します。ヒストグラムが左端から始まらない場合、イメージにはブラックポイントが含まれていません(明るさ=0)。黒いスライダを左へ移動すると、スライダの位置に対するポイントは、明るさの最大値を推測します。その結果として、他のピクセルが再計算される一方で、黒い色調になり、イメージは暗くなります。

中央のスライダはイメージの色調を定義します。明るさは128(グレートーン)です。グレートーンは、スライダを左へ移動すると明るくなり、右へ移動すると暗くなります。

ヒストグラムの上に、チャンネルのプルダウンメニュー(**RGB**、**赤**、**緑**、**青**、**色**、**輝度**)があります。各チャンネルは、個別に調整することも、組み合わせて補正することもできます。

【後処理】タブには、イメージの明るさやコントラストの補正、ガンマ補正、イメージの彩度を変更するためのパラメーターも用意されています。

明るさ(設定可能範囲は -100 から 100): イメージの明るさを変更する場合に使用するパラメーターです。パラメーターの値が大きいほど、イメージの全ピクセルは明るくなり、小さいほど暗くなります。

コントラスト(設定可能値が -100 から 100): イメージの明るい部分と暗い部分の差を大きくしたり(値が1以上の場合)、小さくしたり(値が0未満の場合)するのに使用するパラメーターです。

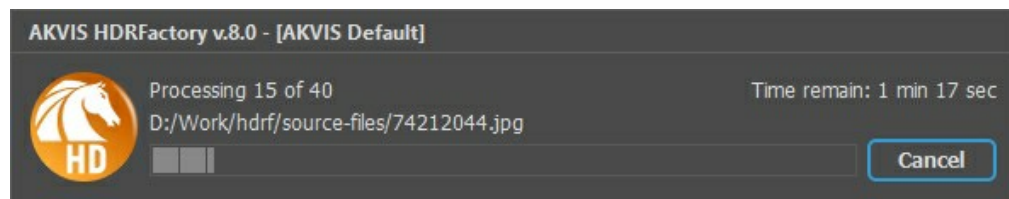
ガンマ(設定可能値が 50 から -250): 中間トーンを上下することで、イメージ全体のコントラストを変更するパラメーターです。

彩度(設定可能値が -100 から 100): 色の強度を変更するパラメーターです。

設定を調整すると、自動的に処理が開始されます。処理後の画像が**【処理後】**タブに表示されます。

バッチ処理

AKVIS HDRFactory がサポートしている **バッチ処理** 機能は、同じ設定で一連の(複数の)画像を自動的に変換することができ、時間と労力の節約になります。バッチ処理は、パンフレットに同じスタイルのイラストをたくさん作成する場合やビデオのすべてのフレームを処理する場合に便利です。



これまでに、バッチ処理機能を使ったことがないとしても、操作方法は簡単に覚えられます。

AKVIS HDRFactory のスタンドアロン版をご利用の場合は、[こちらの手順をご覧ください](#)。

HDRFactory のプラグイン版を Photoshop で使用する場合、[こちらのチュートリアルをご覧ください](#)。

パッチ処理: プラグイン

AKVISパッチ処理を使うと、複数のファイルに自動的にプラグインを適用することができます。

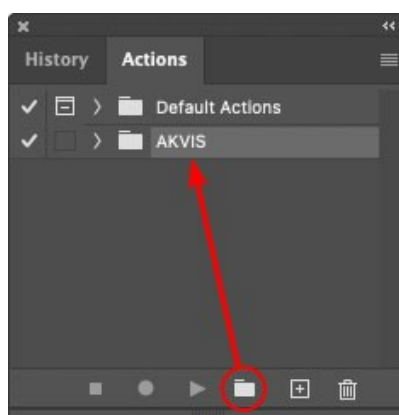
複数のファイルにプラグインを適用するには、まず、**[パッチ処理]**コマンドを使って**アクション**を作成しておき、そのアクションをイメージが保存されているフォルダに適用します。アクションには複数のコマンドを記録することができるため、一度に大量のイメージを処理できます。

ステップ 1: ハードディスクに'source-files'と'result-files'の2つのフォルダを作成します。

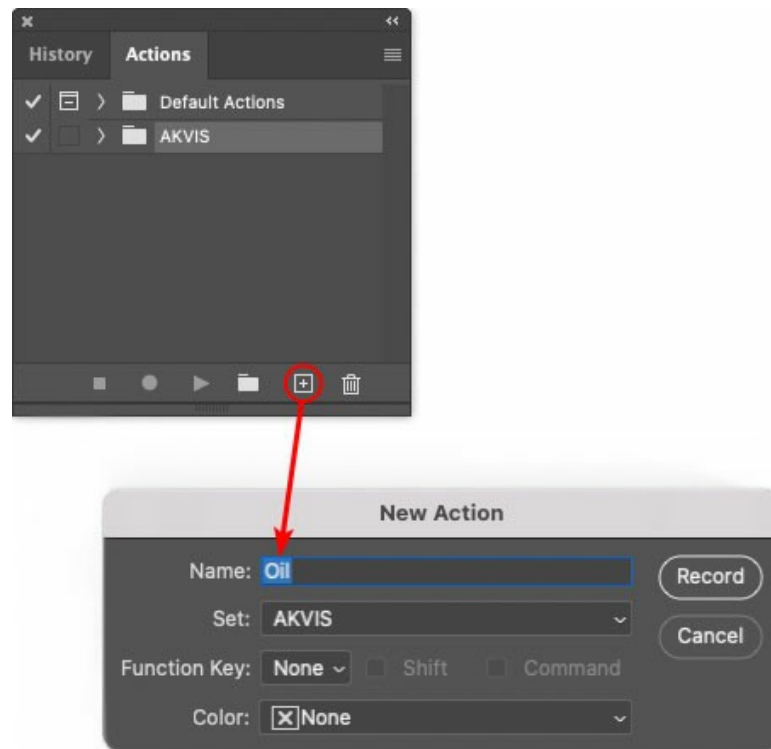
ステップ 2: 'source-files'フォルダのフレームを1つ選び、Adobe Photoshopで開きます。



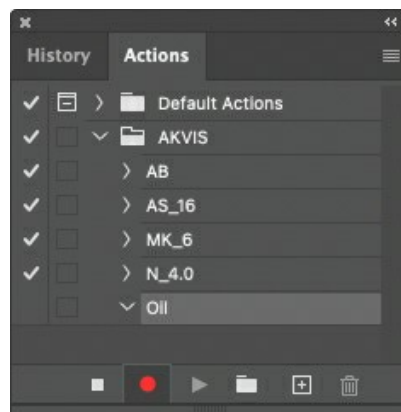
ステップ 3 : **[アクション]**パレットを開き、**[新規作成]**ボタンをクリックします。表示されるウィンドウにて、新規アクションセットの名前を設定します(例: AKVIS)。



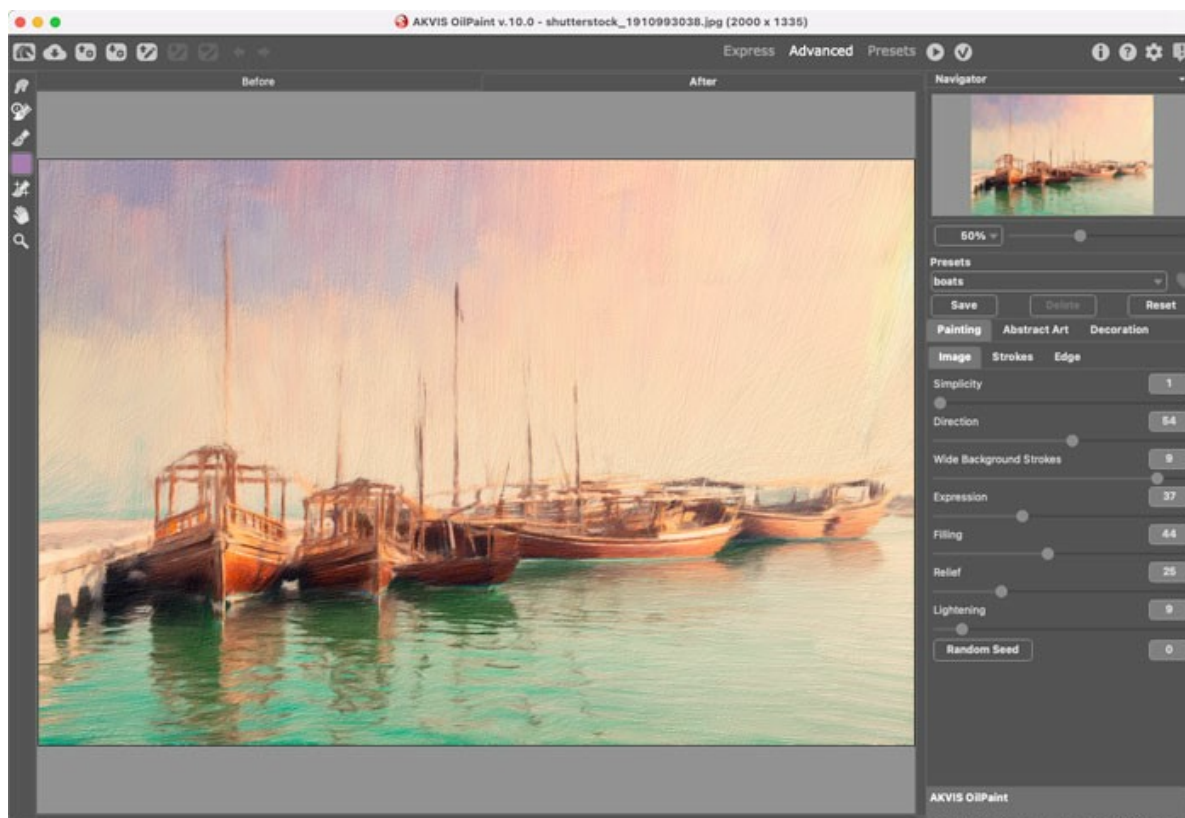
ステップ 4: パレット下部の**[アクションの新規作成]**ボタンをクリックします。表示されるウィンドウにて、アクション名を設定します(例: Oil)。




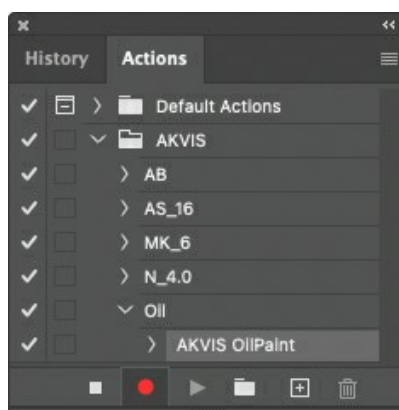
【記録】ボタンをクリックしてアクションの記録を開始します。



ステップ 5: AKVISを呼び出し、最適なパラメータ設定を行います。

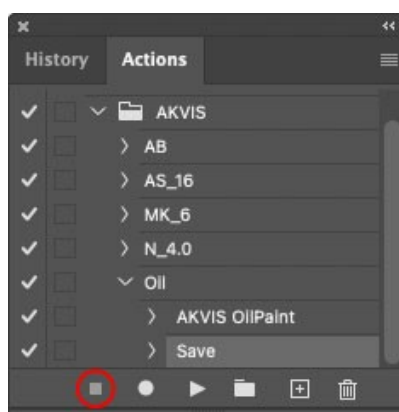


ステップ 6:  をクリックして適用します。



ステップ 7: [ファイル]メニューから[名前を付けて保存]をクリックし、'result-files'フォルダにイメージを保存します。

ステップ 8: [アクション]パレット下部の[停止]ボタンをクリックしてアクションの記録を停止します。



ステップ 9: イメージを閉じて、'result-files'フォルダに保存したばかりのファイルを削除します。

ステップ 10: アクションが作成されたので、ビデオフレームのパッチ処理ができるようになりました。エディタの[ファイル]メニューから[自動] > [パッチ]コマンドを選択します。

ステップ 11: 表示されるパッチウィンドウ内のすべてのデータと設定を割り当てます。

[セット]フィールドで"AKVIS"を選択し、[アクション]フィールドで"Oil"を選択します。

[ソース]フィールドはイメージのソース選択に使用します。フォルダ エントリ(特定のフォルダをソースとして指定できます)を指定します。フォルダの[選択]をクリックし、'source-files'フォルダを指定します。

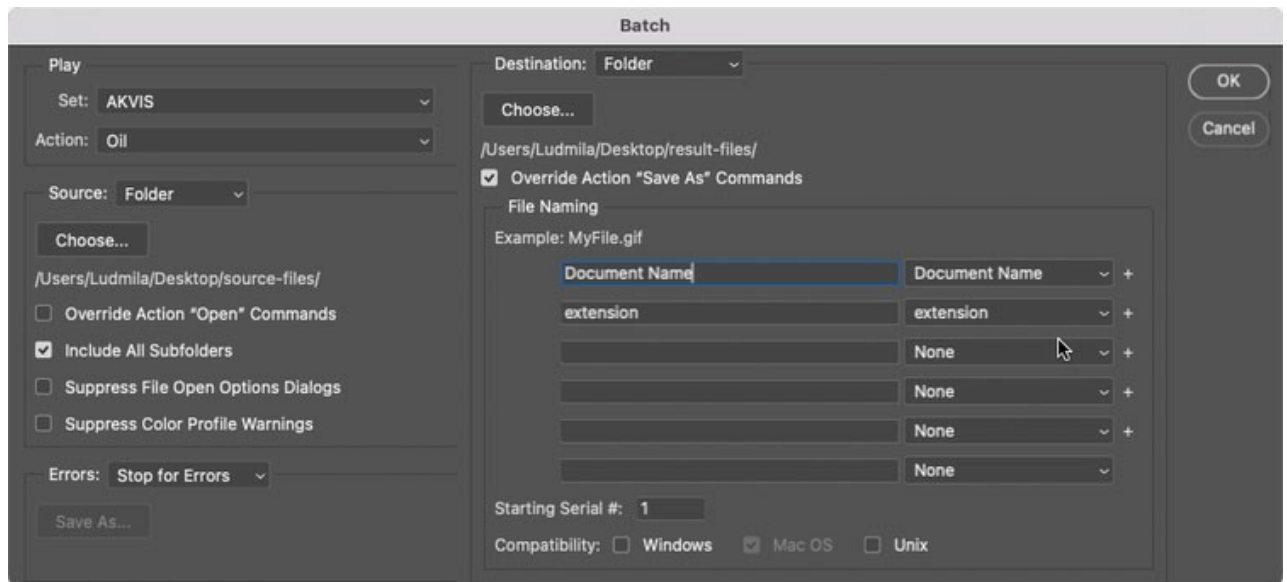
[ファイルを開く]コマンドをアクションに記録しない場合は、["開く"]コマンドを無視]チェックボックスをオフにしてください。

[保存先]フィールドでフォルダ エントリを指定し、[選択]をクリック後、'result-files'フォルダを選択します。

["名前を付けて保存"]コマンドを省略]オプションをオンにします。


[ファイル名]では、処理後のイメージの名前変更方法を設定します。名前を変更しない場合は、最初のフィールドでドキュメント名を指定し、2つ目の

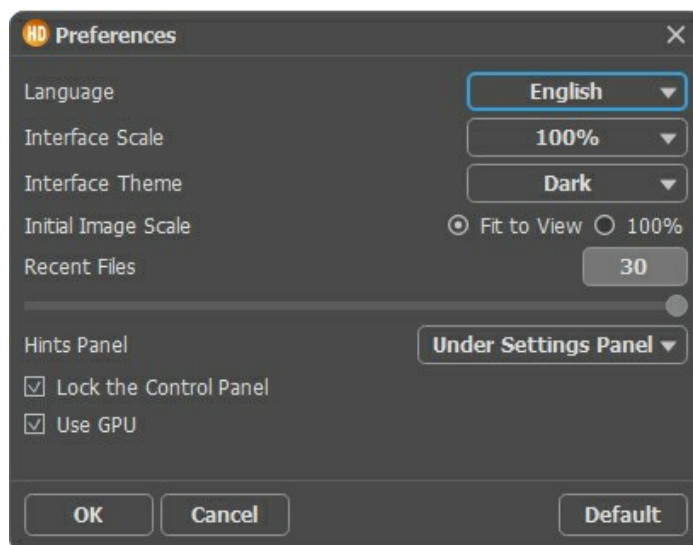
フィールドで拡張子を指定します。




ステップ 12: 【バッチ】ウィンドウの[OK]ボタンをクリックします。これで、Photoshopは'source-files'フォルダ内のフレームを1つずつ処理し、'result-files'フォルダに保存していきます。1つのファイルの処理には約18秒かかり、591フレームで構成されたビデオ全体の処理には約3時間かかります。

プログラムの環境設定

 ボタンをクリックすると、**【環境設定】**ダイアログボックスが開きます。次のように表示されます。




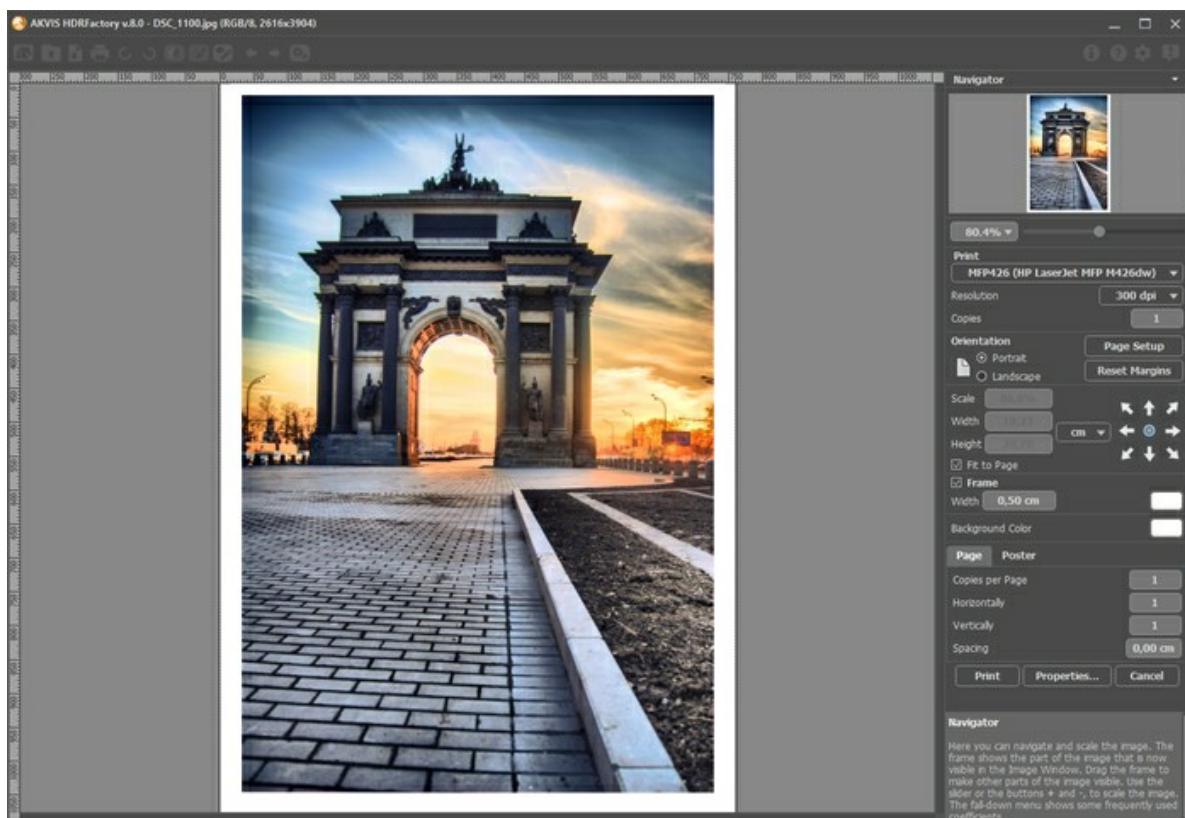
- **言語**: ドロップダウンメニューから目的の言語を選択して変更します。
- **インターフェイスの拡大/縮小**: インターフェイス要素のサイズを選択します。**自動**に設定されている場合、ワークスペースは、自動的に画面の解像度に合わせで拡大/縮小されます。
- **インターフェイス テーマ**: インターフェイスのテーマを選択します。**明るい**, **グレー** または **暗い**の3種類のテーマがあります。
- **初期の比率**: このパラメータは、開いたイメージを**イメージウィンドウ**に拡大/縮小する方法を設定します。このパラメータは2つの値のいずれかを設定します。
 - **【画面に合わせる】**: イメージウィンドウに全体が表示されるように、拡大/縮小率が調整されます。
 - **【100%】**を有効にした場合、イメージは拡大/縮小されません。[100%]に設定すると、ほとんどの場合イメージの一部のみウィンドウに表示されます。
- **最近使ったファイル** (スタンドアロン版のみ): 最近使ったファイルの表示数を指定します。最近使ったファイルの一覧(単一イメージとHDRのセットの両方を含む)は、最も最近使ったファイルが一番上に来よう順番に表示されます。この一覧は、 を右クリックすると表示されます。設定可能な最大ファイル数は、30ファイルです。
- **ヒント パネル**: カーソルをパラメータやボタンに合わせた場合、それらに関する簡単な**ヒント**が表示されます。ヒントの表示方法に関する設定は以下の通りです。
 - **イメージウィンドウの下**: メインウィンドウ内のイメージの下に表示します。このモードは、ウィンドウの高さが低く、設定パネルの下にヒントを表示するだけのスペースがない場合に便利です。
 - **設定パネルの下**: 右側の設定パネルの下にヒントが表示されます。
 - **隠す**: ヒントの表示する必要がない場合は、このオプションを選択します。
- **【コントロールパネルを常に表示】**チェックボックス: トップパネルの表示/非表示の切り替えができなくなります。このチェックボックスをオンにすると、パネルは常に表示されます。コントロール パネルの表示/最小化を切り替えることができます(コントロール パネル中央にある小さな三角を使用)。コントロール パネル非表示の時は、カーソルをパネルの上に持っていき一時的に表示できます。
- **【GPUアクセラレーション】**チェックボックス: 有効にすると、GPU アクセラレーションをオンにすることができます。コンピュータが GPU アクセラレーションをサポートしていない場合、チェックボックスは無効になります。

【環境設定】ウィンドウでの変更内容を保存するには、**【OK】**をクリックします。

既定値に戻す場合は**【既定値】**をクリックします。

印刷

AKVIS HDRFactory のスタンドアロン版では、イメージを印刷することもできます。  を押すと **【印刷】** オプションが表示されます。



AKVIS HDRFactory での印刷オプション

設定パネルのパラメーターを調整します。

リストからプリンターを選択し、希望の解像度と部数を指定します。

【印刷の向き】では、紙の方向を設定します。**【縦】**または**【横】**から選択します。

【ページ設定】をクリックして表示されるダイアログボックスでは、用紙サイズ、印刷の向き、余白などの設定を行うことができます。

【余白のリセット】をクリックすると、ページのマージンをデフォルトの設定値に戻すことができます。

イメージの印刷サイズを変更するには、**【比率】**、**【幅】**、**【高さ】**、**【ページに合わせる】**等のパラメーターを調整します。これらは印刷にのみ影響するものであり、イメージ自体には影響しません。印刷するイメージのサイズ変更を行うには、**【比率】**に値を直接入力するか、**【幅】**と**【高さ】**に値を入力します。

イメージサイズを用紙に合わせる場合は、**【ページに合わせる】**チェックボックスをオンにします。

ページ上のイメージをマウスで動かしたり、矢印キーを使って揃えたりできます。

【枠】を有効にし、枠の幅や色を指定できます。

色パレットをクリックして、**【背景色】**を変更できます。

【ページ】タブでは、1枚にイメージを複数印刷するための設定を行うことができます。



- **【割り付け】**: 1ページに画像を何枚印刷するかを指定します。
- **【水平方向】**と**【垂直方向】**: これらの数は、それぞれイメージの行と列の数を意味します。
- **【間隔】**: イメージ同士の間隔を指定します。

【ポスター】タブでは、大きな画像を複数のページに分け、それぞれの結合部分とともに印刷することができます。



ポスター印刷

- **【ページ】**: チェックボックスがオンの場合、イメージを何枚に分けて印刷するかを指定できます。この設定に応じて、イメージの拡大率が調整されます。チェックボックスがオフの場合、プログラムが実際のサイズに応じて、自動的に最適枚数を選択してくれます。
- **【のりしろ】**: チェックボックスがオンの場合、ページの結合部分ののりしろの幅を指定できます。のりしろはページの右側と下部に追加されます。
- **【切り取り線】**: チェックボックスがオンの場合、余白に切り取り線を表示させることができます。
- **【ページ番号の表示】**: チェックボックスがオンの場合、行と列の番号が余白部分に表示されます。

指定したパラメーターでイメージを印刷するには、**【印刷】**ボタンをクリックします。
変更をキャンセルし、ダイアログボックスを閉じるには、**【キャンセル】**をクリックします。

【プロパティ...】ボタンをクリックすると、システム ダイアログボックスが表示され、詳細な設定を行ったり、印刷を行ったりできます。

夕暮れ時の海辺

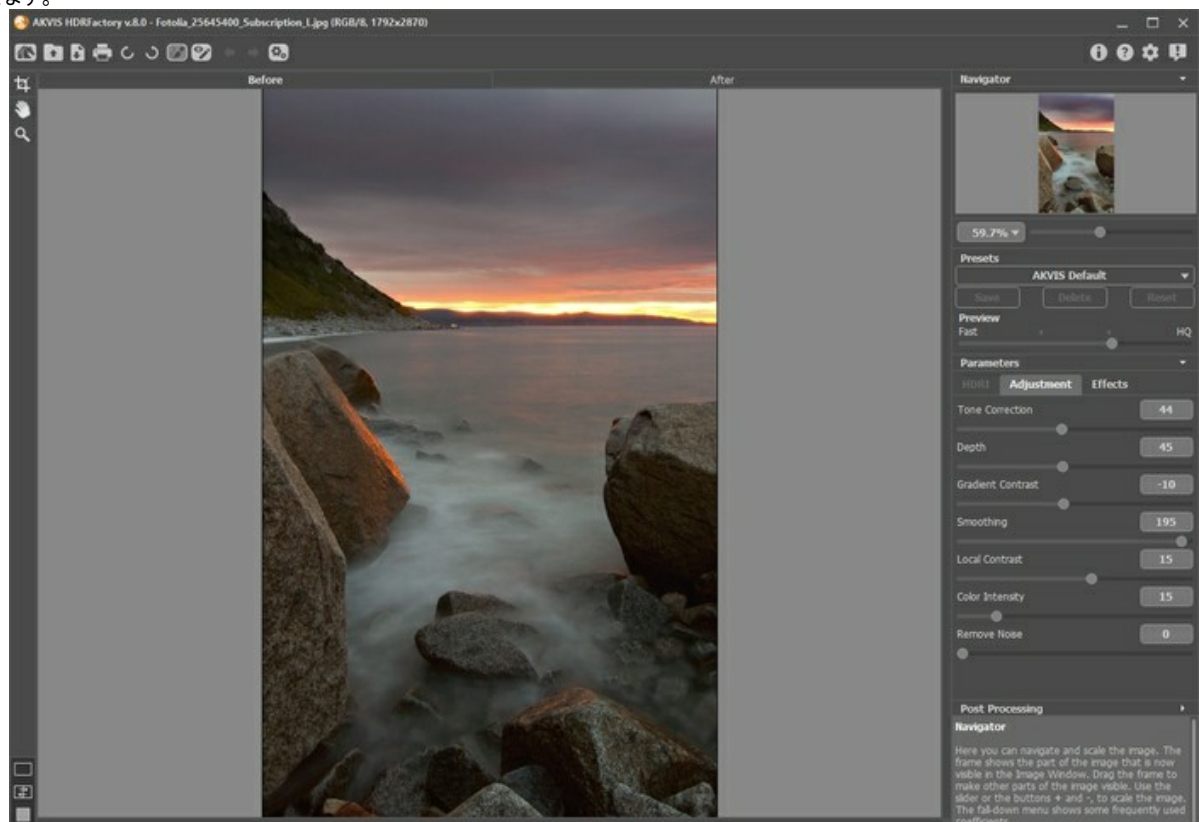
美しい自然の風景を撮影する場合、実生活と同様の色鮮やかさなどを表現したいと思うものです。しかし、多くの場合期待が大きく裏切られます。モニタで見ると、明るく色鮮やかな風景は色あせて、精彩の欠けたものとなってしまいます。

AKVIS HDRFactory を使うと、何のへんてつもない写真が非常に美しく色鮮やかなイメージに早変わり!

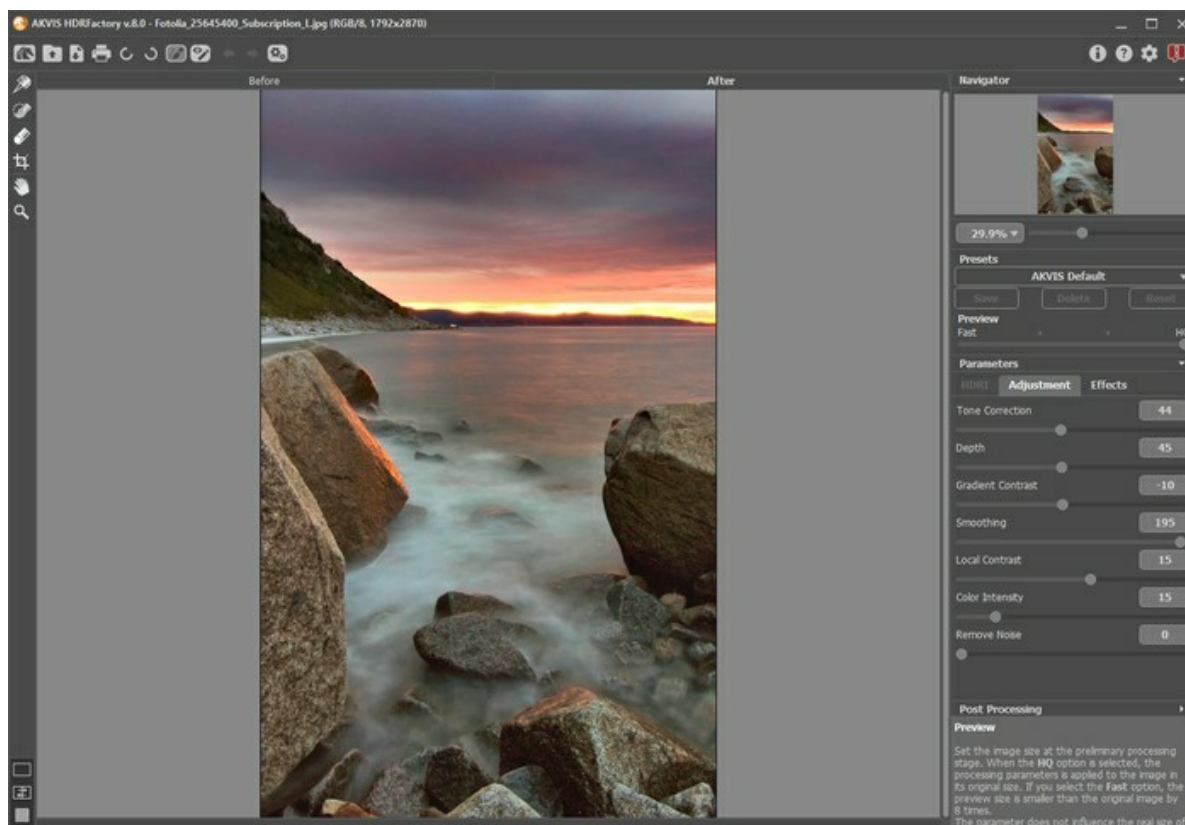


この写真にHDR合成イメージと同じような効果を与えてみましょう。

ステップ1: AKVIS HDRFactory のスタンドアロン版を開きます。開いた画像を見ると、灰色がかった海と空、そして夕日による赤みがかった空の薄い層が確認できます。



ステップ2: プログラム起動後、開いたイメージは自動的にデフォルト設定で処理が行われます。変換結果は[処理後]タブに表示されます。



イメージは、何もしない状態の時よりも良くなりました。夕日が水面に反射され、空全体が深紅の色合いになり、見えなかった詳細部分も鮮明になりました。より鮮やかな効果をイメージに適用してみましょう。

ステップ3: 最適といえる設定を探します。**[階調補正]**、**[深さ]**、**[色の強度]**の各パラメータの値を高く設定します。



処理後のイメージは色も鮮やかになり、より現実になりました。イメージ内のオブジェクトには要求された品質が適用され、より鮮やかで全体に行き渡っています。

現在の設定内容をプリセットとして保存できます。保存したプリセットは後で使用できます。



高地の風景

この写真は、Denis Davydov氏から受け取りました。

Denis氏からは、異なるさまざまな露出度で撮影した写真が届きました。とても美しい景色です。しかし、色が暗く、光が当たっていないために見えづらいオブジェクトもあります。**AKVIS HDRFactory**を使用し、細部をはっきりさせ、色の彩度を上げることができます。




ソース画像



結果: HDRイメージ

このような効果を得るための方法をこれから紹介します。

ステップ1: AKVIS HDRFactoryを起動します。

ステップ2: AKVIS HDRFactoryのコントロールパネルにある  ボタンをクリックし、使用するファイルを選択します。

イメージがプログラムに読み込まれ、デフォルトのパラメータ値(この場合、**AKVIS Default**)で自動的に処理されます。



ステップ3: [トーンマッピング] の設定を調整します。



結果は良いものになりました。📁 をクリックすると、結果を保存できます。しかし、私たちの目標は、イメージを明るくして、暗い部分にあるオブジェクトをはっきりさせることです。

ステップ4: オブジェクトにボリュームを加えるには、**【調整】**タブを使用します。

以下のスクリーンショットに示されている値と同じように設定します。




ステップ5: 処理後のイメージが明るくなりすぎました。さらに濃く、色を鮮やかにすることができます。

【後処理】 タブに切り替えて、各パラメーターを**【明るさ】** = 15、**【彩度】** = 40、**【ガンマ】** = 90 に設定します。



元のイメージの中の1枚と処理後のイメージを比較するには、**【処理前】**タブと**【処理後】**タブを切り替えます。

ステップ6: 希望通りの結果となりました。処理結果は素晴らしいものになりました。適用されたテクスチャがより際立ち、太陽の光をいっぱいを受けたイメージになりました。新たに小さな詳細や色合いの変化が明らかになり、背景も情報が増し、表情豊かな高地のイメージになりました。

 を押して結果を保存します。



AKVISプログラム

AKVIS AirBrush — エアブラシを使ったぼかし処理を手軽に適用

AKVIS AirBrush は、写真をスプレー塗料またはインキをスプレーする特殊なエアブラシツールで作られたように見える芸術作品に自動的に変換します。ソフトウェアは、選択した写真から絵画への変換設定を使用して、画像からスタイリッシュでカラフルなエアブラシデザインを作成する芸術的なフィルタとして動作します。 [詳細情報](#)



AKVIS Artifact Remover AI — JPEG-圧縮画像のレストア

AKVIS Artifact Remover AIは、AIアルゴリズムを使用して、JPEG 圧縮アーテファクトを取り除き、圧縮した画像本来の品質へと補整します。このプログラムは4つの画像修復モードを提供し、それぞれ今回特別に開発された独自のニューラルネットワークを使用します。このソフトウェアは、ホームユーザーは無料で利用できます。商用利用には、ビジネスライセンスを提供しています。 [詳細情報](#)



AKVIS ArtSuite — 写真をオリジナルで華やかに飾ります!

AKVIS ArtSuite は、写真を飾るための印象的かつ多用途な効果を集めたものです。写真をオリジナルで華やかに飾ります! 友人へ送るポストカードの作成、旅の思い出アルバムの作成、デスクトップ用の壁紙、または、アート感覚で楽しむためなど、さまざまな場合で必要になるでしょう。ArtSuiteは、いくつかの基本的な効果が用意されており、効果を適用したバージョンを無限に作成できます。 [詳細情報](#)



AKVIS ArtWork — 多彩なペイント/描画技法

AKVIS ArtWork は、様々な芸術技術を写真に与えるための画像変換ソフトウェアです。油絵、水彩、グワッシュ、コミック、ペン&インク、リノカット、ステンシル、バステル、点描画法です。Artwork を使うと、デジタル写真が芸術作品に早変わり！ [詳細情報](#)



AKVIS Chameleon — フォトコラージュ作成

AKVIS Chameleon は、挿入した被写体の自動調整、対象のイメージカラー範囲の調整、被写体の境界の円滑化などができる効果的なツールです。このツールはいくつかの目的に役立ちます： 写真に新しい被写体を挿入したいけれど、従来のツールよりもフレキシブルで簡単なものがほしい(コラージュ作成), いらぬ不具合を、イメージの近くのパーツと置き換えて隠したい(クローンツールと類似)。 [詳細情報](#)



AKVIS Charcoal — 簡単なステップで写真が木炭画になります！

AKVIS Charcoal は、写真を木炭やチョークを使用して描いた絵のように変換することのできる芸術的なツールです。黒と白の著しい違いを使用した材料の統合もできます。色やオプションを使用することによって、素晴らしい芸術的な効果を作り上げることができます。 [詳細情報](#)



AKVIS Coloriage AI — 白黒写真を色付けする

AKVIS Coloriage で白黒写真に息吹を！

Coloriageを使用すると、白黒写真をカラー写真として蘇らせることができるだけでなく、カラー写真の色を変更して印象を刷新したりすることができます。 [詳細情報](#)



AKVIS Decorator — 被写体の模様や色を変更

AKVIS Decorator は、被写体表面の色や模様を違和感なく変更することができるソフトウェアです。このソフトウェアを使用すると、女性のドレス、車体、家具など、写真の一部を選択して、新しい色や模様を適用することが可能です。 [詳細情報](#)



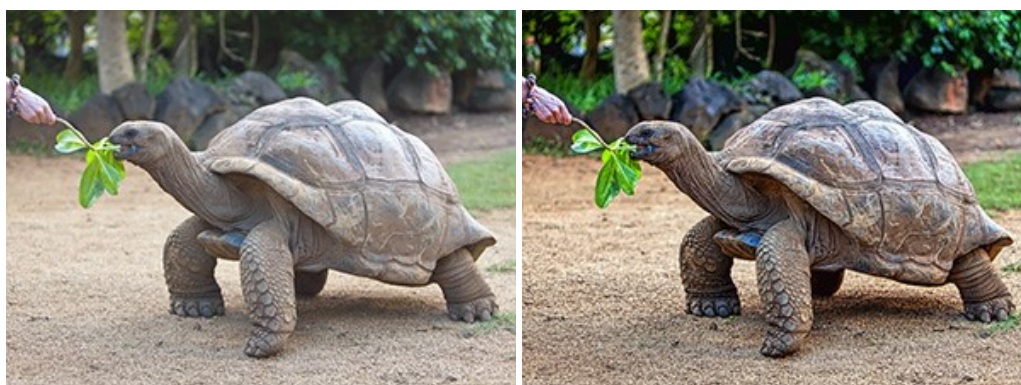
AKVIS Draw — 手書きの鉛筆画への変換

AKVIS Draw は、デジタル画像から、手書きの鉛筆画やラインアートを作成します！ソフトウェアは非常に使いやすく、ワンクリックで自然な鉛筆画を作成します。 [詳細情報](#)



AKVIS Enhancer — 詳細を引き立てるツール

AKVIS Enhancer は、不鮮明になってしまった原因に関わらず、ディテールを高めることができるイメージ補正ソフトウェアです。本プログラムは、露出が均一ではない写真から露出不足、露出過度、中間調の各領域のディテールを検出します。 [詳細情報](#)



AKVIS Explosion — 素晴らしい粒子の爆発効果

AKVIS Explosion は、写真に爆発効果を追加し、砂などの粒子を適用します。このソフトウェアを使用することで、人目をひくグラフィックを数分で作成できます！ [詳細情報](#)



AKVIS Frames — あなたの写真をフレームで飾りましょう

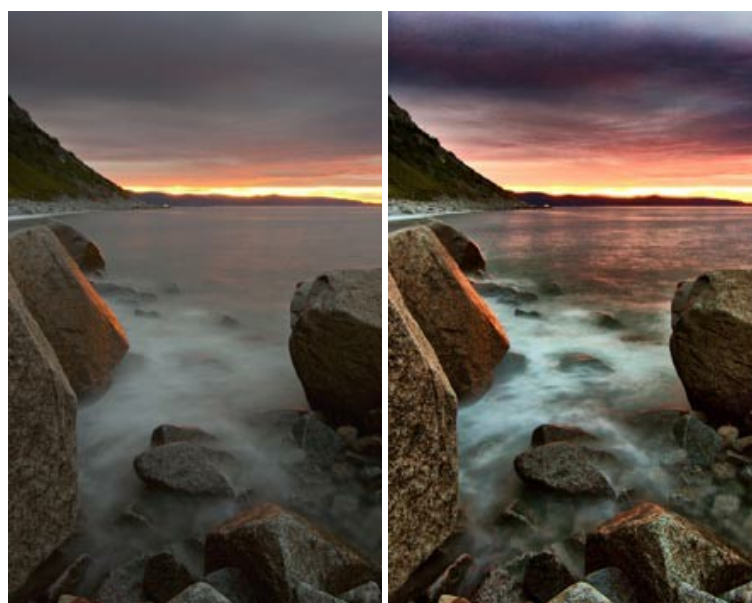
AKVIS Frames は、AKVISフレームパックと共に機能する無料写真校正ソフトウェアです。

このプログラムを使えば、専用の写真フレームであなたの写真を簡単にデコレートすることができます！ [詳細情報](#)



AKVIS HDRFactory — 実際に明るい画像に!

AKVIS HDRFactory では、単一イメージまたは同様のイメージを複数枚を使用して、HDRイメージを作成できます。このプログラムは画像修正を行うために使用することもできます。AKVIS HDRFactoryで写真に息吹、そしてより鮮やかな色合いを！ [詳細情報](#)



AKVIS Inspire AI — イメージの芸術的スタイル化

AKVIS Inspire AI は、様々な絵画のサンプルを使用してイメージをスタイル化します。AIに基づくプログラムが、選択した芸術作品のカラースキームとスタイルを写真に適用し、新しい芸術作品を作り出します。このソフトウェアは、芸術スタイルのギャラリーを備えており、カスタム サンプルを読み込むことができます。世界中の有名なアーティストのスタイルを模倣しましょう！ [詳細情報](#)



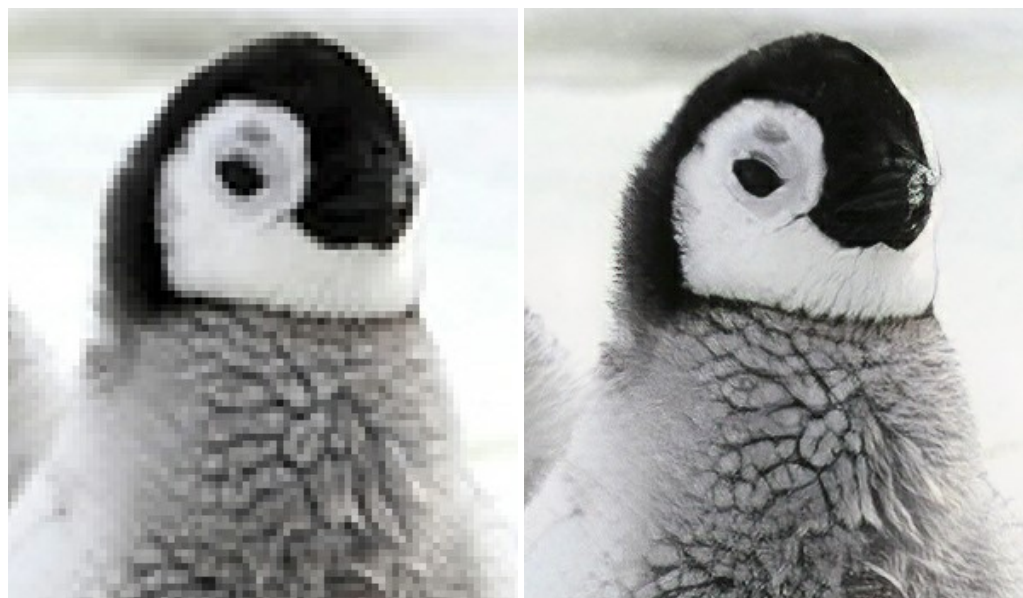
AKVIS LightShop — 光と星の効果

AKVIS LightShop を使って、無限の光のイメージ効果を作成してみましょう。荒れ模様の空にある光、町を横切るカラフルな虹、雲に映る反射、暖炉の燃っている木の炎、夜空の中で輝く未知のサイン、太陽の揺らめく炎、遠方の惑星の光、花火 - 貴方の想像の限りに! [詳細情報](#)



AKVIS Magnifier AI — きれいに画像解像度を上げることができます!

AKVIS Magnifier AI を使えば、効率的に画像解像度を上げることができます。Magnifier AI は、先進の拡大アルゴリズムを用い、ポスターサイズ印刷にまで対応できるよう、デジタル画像を驚くほど美しく超高解像度に拡大します。Magnifier AI で写真の解像度と品質を向上させましょう! [詳細情報](#)



AKVIS MakeUp — 理想の肖像画を作成しましょう!

AKVIS MakeUp を使うと、写真に魅力が加わり、プロのような仕上がりが期待できます。

肌に見られるシミなどのレタッチを行い、輝きがあり、美しく、滑らかで、澄んだ肌を作り出します。 [詳細情報](#)



AKVIS NatureArt — リアルな自然現象がデジタルアートで再現できる！

AKVIS NatureArt は、壮大な自然現象をデジタル写真に再現するための素晴らしいツールです。自然の効果は、私たちが受ける印象に与える影響が大きく、写真からくる印象を強調するために使用することもできます。自然現象の効果を劇的に追加したり、天気を変えたりできます！ [詳細情報](#)



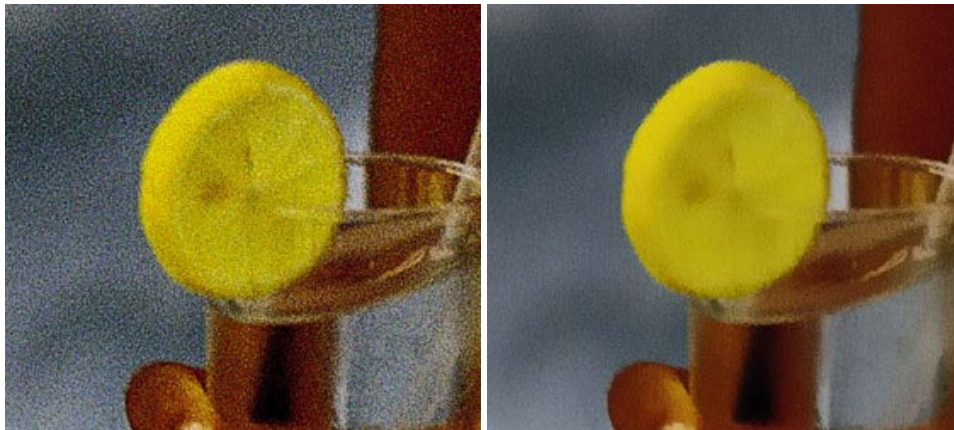
AKVIS Neon — グローエフェクト

AKVIS Neon は、ネオンのような発光インクを使用して描いたように見える写真に変換します。このツールを使用すると、驚くような輝くラインエフェクトを作成できます。まるで光を使って描く画家になったような気分が味わえます！ [詳細情報](#)



AKVIS Noise Buster AI — デジタルノイズリダクション

AKVIS Noise Buster AI を使用すると、写真の印象を損なうことなく、デジタル写真上の輝度ノイズとカラー ノイズの両方を低減することができ、プロの写真家が撮影したような仕上がりが得られます。 [詳細情報](#)



AKVIS OilPaint — 油絵効果

AKVIS OilPaint は、写真を油絵に変換するソフトウェアです。プログラムの特長は、ブラシ ストロークの芸術的な適用を行うユニークなアルゴリズムにより、可能な限り本物のブラシで描いたように見えるよう変換されるという点です。 [詳細情報](#)



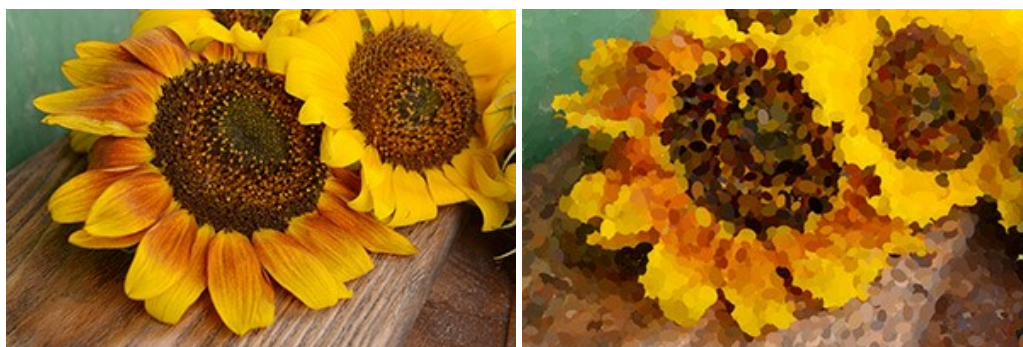
AKVIS Pastel — 写真をパステル画に変換

AKVIS Pastel は写真をパステル画調に変換します。このプログラムは、芸術的テクニックの一つでもあるパステルアートをデジタル画像で作りださうというものです。 [詳細情報](#)



AKVIS Points — 写真に点描画法の効果を適用!

プログラムを使用することで、イメージを点描画法を使用した芸術作品に変換できます。写真であっても、点描画法を使用した素晴らしい絵画になります! [詳細情報](#)



AKVIS Refocus AI — ビンボケの修正とぼかし効果

AKVIS Refocus AI は、ピンボケしたイメージを鮮明にします。イメージ全体の処理を行うことはもちろん、背景に対して手前の被写体などが目立つように指定部分のみピントの調整を行うこともできます。本ソフトウェアには、[リフォーカス AI]、[逆ティルト効果]、[アイリスぼかし]、[移動ぼかし]、[放射状ぼかし]の5つのモードがあります。 [詳細情報](#)



AKVIS Retoucher — 画像修復ソフトウェア

AKVIS Retoucher は、傷やチリを効果的に除去できるソフトウェアです。Retoucherでは、チリ、傷、破片、しみ、水腐れ、その他損傷を受けた写真に見受けられる不具合を除去することができます。Retoucherは、生産性を向上し、表面の不具合による作業を減らすことができます。 [詳細情報](#)



AKVIS Sketch — 写真を鉛筆画に変換

AKVIS Sketch は、写真を素晴らしい鉛筆画へと自動的に変換するためのソフトウェアです。本物のようなカラーの鉛筆画、白黒のスケッチ画を作り出し、黒鉛、色鉛筆の技法を真似た効果を写真に与えることもできます。写真からスケッチ画に変換するための技法として、クラシック、アーティスティック、マエストロの 3種類と、それぞれプリセットが用意されています。AKVIS Sketch を使うと、プロの芸術家になったような気分を味わえるでしょう! [詳細情報](#)



AKVIS SmartMask — 選択範囲の作成を簡単にします

AKVIS SmartMask は楽しみながら使い、時間も節約できる効率的な選択範囲用ツールです。今までにはない、シンプルな選択範囲用ツールです! 選択範囲の指定にかかる時間が短縮される分、創作活動に時間を使うことができます。 [詳細情報](#)



AKVIS Watercolor — 水彩画

AKVIS Watercolor は、本物さながらの素晴らしい水彩画を生成できます。Watercolor には、写真変換技法が二種類用意されています。水彩 (クラシック) または水彩 (輪郭)を選択できます。写真が本物の絵画のようになります! [詳細情報](#)

